



## 取扱説明書

# MDA-W977J

# MDA-W955J

# MDA-W933J

MD/CD/DSPヘッドユニット

---



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号

FAX : 03-3494-1767 TEL : 03-3779-0711

電話受付時間 平日 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

電話は混雑が予想されます。FAXかハガキをおすすめします。

アルパインホームページ : <http://www.alpine.co.jp>

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in Japan (S)

68P41262Y47-A

# ⚠️ 安全にお使いいただくために

ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



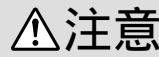
強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

新旧の電池を混ぜる、指定外の電池を使用する、極性を間違えるなど、しないでください。電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。



取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

ディスク挿入口や可動ディスプレイのすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。



禁止

## 取り扱い上のご注意（共通）

### 本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。また、リモコンスターターも誤動作の原因になる場合があります。

### 無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

### 本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

### お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布か堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

### 極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

### 可動部分の動作中は操作をしない

ディスプレイ開閉、角度調整など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

### 温度上昇について

可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

### 可動ディスプレイは必ず閉じる

可動ディスプレイが開ききった状態では、走行しないでください。無理な力が加わり故障の原因になります。

## 取り扱い上のご注意（MD）

### ミニディスク（MD）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

シャッターを開けない／内部にさわらない／直射日光下に置かない／ラベルは正しい位置に一枚だけしっかり貼る／ホコリやごみが付いたら拭きとる／バリが無いことを確認する。

### 結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに霧が付き誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどミニディスクを取り出しておくと正常に動作します。

### 音飛びについて

路面状況の悪いところを走行していると「音飛び」を起こすことがあります。プレーヤーには影響ありません。

## 取り扱い上のご注意（CD）

### 本機で使用できるディスクについて

下記ディスクマークのついているコンパクトディスクをお勧めします。

また、本機は音楽専用のCD-R（CD-Recordable）／CD-RW（CD-ReWritable）の再生が可能です。

MP3ファイル形式のCD-R/CD-RWは再生できません。

- ・次のようなディスクは、再生できないことがあります。指紋やキズが付いている／車内や製品内に長時間放置した／データ書き込み状態が不安定／データフォーマットが音楽ではない／データ書き込みに失敗し再録音した場合など



### コンパクトディスク（CD/CD-R/CD-RW）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない／直射日光下に置かない／ラベルを貼ったり文字を書いたりしない／ホコリやごみが付いたら拭きとる／バリが無いことを確認する／市販のアクセサリを使わない。

特にCD-R/CD-RWは以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高音多湿の環境に弱いので、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

### 結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに霧が付き誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくと正常に動作します。

### 音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがあります。プレーヤーには影響ありません。

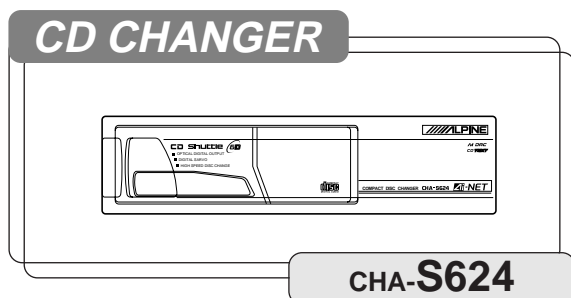
### 特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

### コンパクトディスクのお手入れ

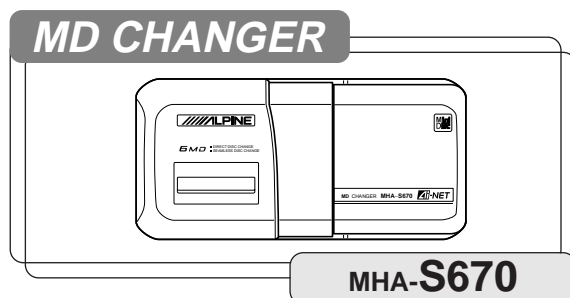
柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

# CDも、MDも、お気に入りのアルバムは、 アルパインのチェンジャーにスタンバイ！！



**CHA-S624**

CDチェンジャー  
標準小売価格 ¥37,800 (税別・取付費別)



**MHA-S670**

MDチェンジャー  
標準小売価格 ¥69,800 (税別・取付費別)

車室内にもセットできる超小型サイズのCD 6枚チェンジャーが、  
音質をグレードアップして新登場。

人気のMDソースが思う存分楽しめるMDチェンジャーも、大ブレイク。

車室内で“いい音”を楽しむ技術にかけては最先端のアルパイン。

そのヘッドユニットをセンターに、車や聴きたいソースにあわせて  
高音質チェンジャーを拡張装備すれば、もっと“いい音”に抱かれる

快適ドライブが実現。アルパインのチェンジャーにプラスして、

あなたも、感動のノンストップデジタルパワープレイを、どうぞこころゆくまで！

# 目次

## 安全にお使いいただくために

警告 / 注意 .....	2
目次 .....	5

## 基本操作

リセットする .....	6
電源のON/OFF .....	6
ディスプレイの角度調整 .....	6
ディスプレイの開閉 .....	7
MD (ミニディスク) を聴く .....	7
CDを聴く .....	8
ラジオを聴く .....	9
チェンジャーでCD (MD) を聴く .....	10

## MD/CD/チェンジャー操作

曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン) ...	11
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス) .....	11
繰り返し聴く REPEAT (リピート) .....	11

## ラジオ操作

放送局を記憶する .....	12
自動的に放送局を記憶する (AUTO MEMORY) .....	12
記憶した放送局を受信する .....	13
D.A.P.を利用する .....	13
道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォメーション) .....	13

## サウンド調整

音量 / バランス / フェダーの調整 .....	14
DHEモードを選ぶ .....	14
イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ .....	15
グラフィックEQを調整する (MDA-W955J/MDA-W933Jのみ) .....	15
パラメトリックEQを調整する (MDA-W977Jのみ) .....	15
サラウンドモード (メーカー設定) を選ぶ .....	16
サラウンドレベル / タイムの調整 .....	16
リスニングポジションの合わせかた (L.P.S.) .....	17
DSP条件の記憶 .....	17
記憶したDSP条件の呼び出し .....	17
カスタマイズドサウンドデータベースを使う (Customized Sound Database) .....	18
自動的に時間補正を行う (Auto Time Correction) (MDA-W977Jのみ) .....	19
手動で時間補正を行う .....	20
時間補正值の記憶 .....	21
記憶した時間補正值の呼び出し .....	21
ディバイダーとは (MDA-W977J/MDA-W955Jのみ) .....	22
ディバイダーの調整 (MDA-W977J/MDA-W955Jのみ) .....	23

## タイトル / テキスト操作

タイトル / テキスト / スクロールとは .....	24
タイトル / テキストを表示する .....	24
スクロールの設定 .....	25
タイトルをつける .....	25
記憶したタイトルから選ぶ (CDチェンジャーのみ) .....	26

## 便利な機能

ミュートのON/OFF .....	27
グラフィックスクリーンを切りかえる .....	27
DUAL DISPLAY表示を切りかえる (MDA-W977Jのみ) .....	27
オートボリュームのON/OFF (MDA-W977J/MDA-W955Jのみ) .....	28
オートボリュームのレベルを設定する (MDA-W977J/MDA-W955Jのみ) .....	28
操作音の切りかえ .....	28
ディスプレイ表示をOFFにする (BLACK OUT機能) (MDA-W977Jのみ) .....	28
外部アンプを接続する (MDA-W977J/MDA-W955Jのみ) .....	29
時刻を設定する .....	29
時刻を表示する .....	30
デモンストレーション機能 .....	30
デモンストレーション機能を解除する .....	31
拡張ユニット操作	
サブウーハーを接続する .....	31
外部割り込みモードの設定 .....	31
外部入力の設定 .....	31
TV (Ai-NET対応) を操作する .....	32

## リモコン操作

(MDA-W977J/MDA-W955Jのみ)	
使用時のご注意 / 電池を入れる .....	33
基本 / MD/CD/チェンジャー .....	34
ラジオ / DSP操作 .....	34



## 取り付けと接続 ..... 35

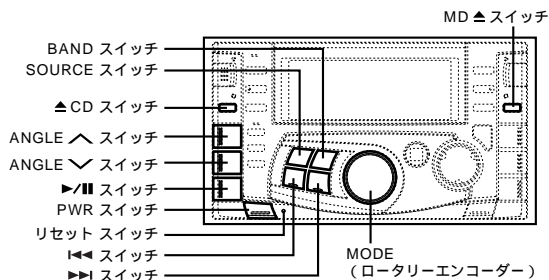
## その他

故障かな?と思ったら .....	40
規格 .....	41
保証について .....	41
お問い合わせ窓口 .....	42
Q & A .....	44
カスタマイズドサウンドデータベース車種一覧 ...	45

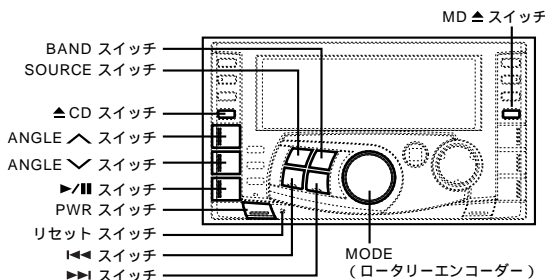


# 基本操作

MDA-W977J/MDA-W955J



MDA-W933J



## 基本操作

デモンストレーションについて  
本機にはデモンストレーション機能が用意されています。  
リセットした後や、初めて電源をONした場合は、自動的にデモンストレーションが開始されます。デモンストレーションを解除するには、「デモンストレーション機能を解除する」(31ページ)を参照してください。



### 電源のON/OFF

- 1 「PWR」を押す。  
電源が入る。
- 2 電源を切るときは、「PWR」を押す。



**Memo**

電源は「▲ CD」、「MD ▲」以外のどのスイッチを押しても入ります。また、CD/MDを挿入すれば電源が入ります。

### リセットする

初めて使うときや、チェンジャー等を取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

- 1 電源が切れているか確認する。入っている場合には「PWR」を押して必ず電源を切る。
- 2 リセットスイッチをペン先などで押す。

リセットスイッチ



**Memo**

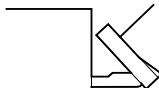
リセットすると、時刻や記憶した内容が消去されます。もう一度、登録し直してください。

### ディスプレイの角度調整

ディスプレイを見やすい角度(10段階)に調整することができます。

- 1 「ANGLE へ」または「ANGLE 〴」を押して角度を調整する。  
角度は押すごとに切りかわる。  
調整したディスプレイの角度はそのまま記憶される。

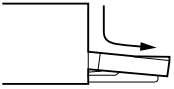
ディスプレイ





## ディスプレイの開閉

- 1 「▲ CD」または「MD ▲」を押す。  
ディスプレイが開く。



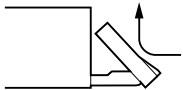
(ディスプレイが開ききった状態)



「▲ CD」を押したときは、ディスプレイは半分だけ開きます。

- 2 ディスプレイを戻すには、「▲ CD」または「MD ▲」を押す。

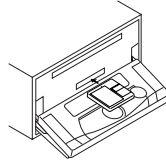
- ・角度調整あり  
ディスプレイは記憶された角度になる。
- ・角度調整なし  
ディスプレイは全閉する。



ディスプレイが開ききった状態では、「▲ CD」または「MD ▲」以外、操作できません。本機の電源がONのとき、開ききった状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。「▲ CD」を押して開いたときは、警告ブザーは鳴りません。イグニッションキーをOFFにしてから、しばらくすると、ディスプレイは全閉します。

## MD (ミニディスク) を聴く

- 1 「MD ▲」を押して、ディスプレイを開く。
- 2 ミニディスクを挿入する。  
ディスプレイが閉まり演奏がはじまる。  
<挿入時の注意>  
ラベル面を上にする。  
ディスクに印字された矢印に従い、挿入する。



すでにミニディスクが入っているときは、「SOURCE」を押して、MDモードにすると演奏がはじまります。

→ TUNER → MD → CD → CHANGER →  
(チェンジャー接続時のみ)

- 3 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

演奏中の曲の頭出し...「◀◀」を押す。  
早戻し .....「◀◀」を押し続ける。

次の曲の頭出し.....「▶▶」を押す。  
早送り .....「▶▶」を押し続ける。

- 4 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、音量を調整する。

MDA-W977J : --- (MIN) ~ 0dB (MAX)

MDA-W955J/MDA-W933J : 0 ~ 35

- 5 演奏を一時停止するときは、「▶||」を押す。  
再度「▶||」を押すと、演奏が再開する。



ディスプレイ表示

- 6 ミニディスクを取り出すときは、「MD ▲」を押す。  
ミニディスクは必ず取り出す。

**OPEN**

ディスプレイ表示

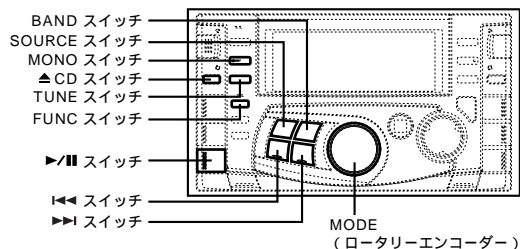
- 7 開いたディスプレイを戻すには「MD ▲」を押す。



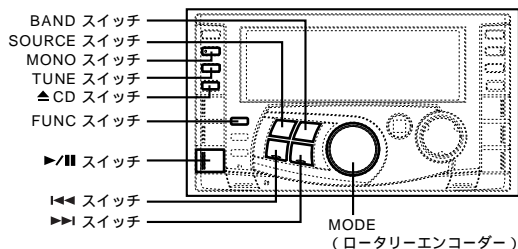
ディスプレイが開いた状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。MD/CD/チェンジャーモード時に「BAND」を押すとディスクモードが切りかわります。



### MDA-W977J/MDA-W955J



### MDA-W933J



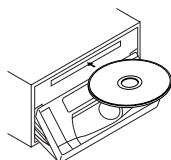
## CDを聴く

1 「▲ CD」を押して、ディスプレイを開く。



ディスプレイは全開しません。半開です。

2 ディスクを挿入する。  
 ディ스플레이が開まり演奏がはじまる。  
 <挿入時の注意>  
 ラベル面を上にする



すでにディスクが入っているときは、「SOURCE」を押して、CDモードにすると演奏がはじまります。

→ TUNER → MD → CD → CHANGER  
 (チェンジャー接続時のみ)

シングルCD (8cm CD) はそのまま使用できますので、アダプター無しで挿入してください。

3 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

演奏中の曲の頭出し ... 「◀◀」を押す。  
 早戻し ..... 「◀◀」を押し続ける。

次の曲の頭出し ..... 「▶▶」を押す。  
 早送り ..... 「▶▶」を押し続ける。

4 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、音量を調整する。

MDA-W977J : --- (MIN) ~ 0dB (MAX)  
 MDA-W955J/MDA-W933J : 0 ~ 35

5 演奏を一時停止するときは、「▶/||」を押す。  
再度「▶/||」を押すと、演奏が再開する。



6 ディスクを取り出すときは、「▲ CD」を押す。  
ディスクは必ず取り出す。



7 開いたディスプレイを戻すには「▲ CD」を押す。



MD/CD/チェンジャーモード時に「BAND」を押すとディスクモードが切りかわります。





## ラジオを聴く

- 1 「SOURCE」を押して、TUNERモードにする。  
TUNERモードにするとアンテナが伸びる。(パワーアンテナ装着車のみ)

↓  
▶TUNER → MD → CD → CHANGER ◀  
(チェンジャー接続時のみ)



パワーアンテナ装着車は、パワーアンテナ/ブースターコードを必ず接続してください。「基本接続図」(37ページ)を参照してください。

- 2 「BAND」を押して、バンドを選ぶ。

▶FM1 → FM2 → AM ◀

- 3 「FUNC」を押して、ファンクションモードにする。

MDA-W977J/MDA-W955J

「FUNC」を一度押すと、現在のモードを表示する。  
モード表示中に「FUNC」を押して、  
D.A.P./MONO/TUNE/A.MEMO操作モードにする。

↓  
プリセットモード ↔ ファンクションモード  
(D.A.P./MONO/TUNE  
/A.MEMO操作モード)

MDA-W933J

「FUNC」を押して、<FUNC>インジケーターを点灯させる。

↓  
FUNC ↔ (消灯)

- 4 「TUNE」を押して、チューニングモードを選ぶ。

DX SEEK ↔ LOCAL SEEK  
(ディスタンスモード) (ローカルモード)



初期設定はディスタンスモードに設定されています。  
・ディスタンスモードのとき  
受信可能な放送局を自動的に受信します。  
(自動選局)  
・ローカルモードのとき  
電波の強い放送局だけを自動的に受信し  
ます。(自動選局)

- 5 「FUNC」を押して、ファンクションモードを解除する。

MDA-W977J/MDA-W955J

「FUNC」を一度押すと、現在のモードを表示する。  
モード表示中に「FUNC」を押して、プリセット  
(PRESET)モードにする。

MDA-W933J

「FUNC」を押して、<FUNC>インジケーターを消灯させる。

- 6 「◀◀」または「▶▶」を2秒以上押して、聴きたい放送局(周波数)を探す。



周波数を1段階ずつ変える(手動選局する)には、「◀◀」または「▶▶」を軽く押してください。

- 7 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、音量を調整する。

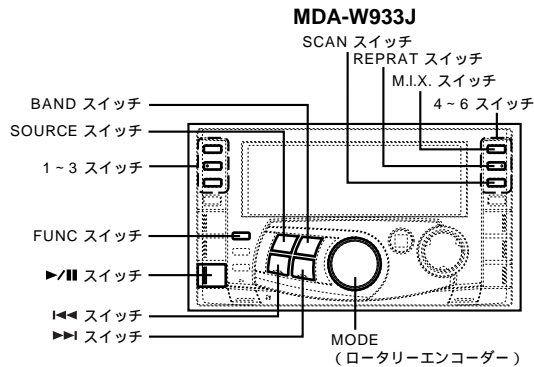
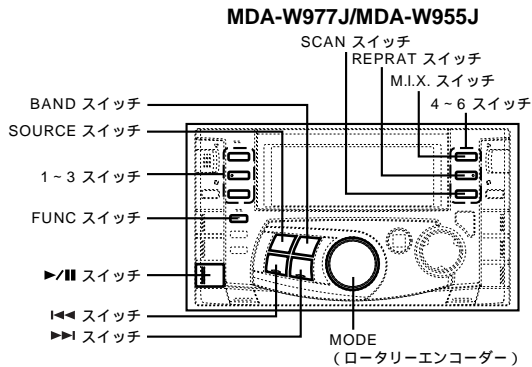
MDA-W977J : --- (MIN) ~ 0dB (MAX)

MDA-W955J/MDA-W933J : 0 ~ 35

モノラル受信に切りかえる  
ノイズが多くFMステレオ放送が聴きにくいときは、モノラル受信に切りかえると、聴きやすくなります。(AMステレオ放送は常にモノラルで受信します。)

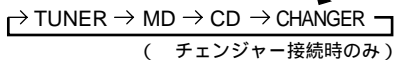


- 1 「FUNC」を押して、ファンクションモードにする。
- 2 「MONO」を押して、MONO ONにする。
- 3 解除するには、再度「MONO」を押す。
- 4 「FUNC」を押して、ファンクションモードを解除する。



## チェンジャーでCD (MD) を聴く

1 「SOURCE」を押して、CHANGERモードにする。



2 チェンジャーのディスクNo.1～6を選ぶときは「FUNC」を押して、ディスク選択モードにする。

**MDA-W977J/MDA-W955J**

「FUNC」を一度押すと、現在のモードを表示する。モード表示中に「FUNC」を押して、ディスク選択モードにする。

SCROLL/M.I.X./REPEAT ↔ ディスク選択モード / SCAN操作モード (ファンクションモード)

**MDA-W933J**

「FUNC」を押して、<FUNC>インジケーターを点灯させる。

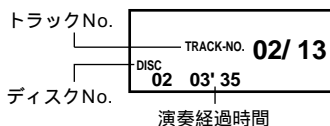
FUNC ↔ (消灯)

3 「1」～「6」のいずれかを押す。「1」～「6」はディスクNo.1～6に相当する。

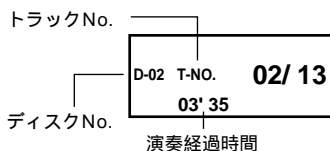
4 「<<<」または「>>>」を押して、聴きたい曲(トラックNo.)を選ぶ。

<ディスプレイ表示例>

**MDA-W977J**

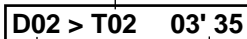


**MDA-W955J**



**MDA-W933J**

トラックNo.



ディスクNo. 演奏経過時間

5 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、音量を調整する。

MDA-W977J : --- (MIN) ~ 0dB (MAX)  
MDA-W955J/MDA-W933J : 0 ~ 35

6 演奏を一時停止するときは、「>||」を押す。再度「>||」を押すと、演奏が再開する。



**Memo**

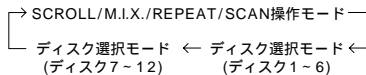
曲の早送り / 早戻しをするには、「<<<」または「>>>」を押し続けます。MD/CD/チェンジャーモード時に「BAND」を押すとディスクモードが切りかわります。Versatile Link Terminal (KCA-410C) を使用し、チェンジャーなど2台の製品を接続している場合は、「BAND」を押して製品を選びます。

12連奏チェンジャーのディスクを選ぶときは、次の手順で操作してください。

1 「FUNC」を押して、ディスク選択モードにする。

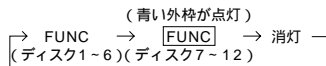
**MDA-W977J/MDA-W955J**

「FUNC」を一度押すと、現在のモードを表示する。モード表示中に「FUNC」を押して、ディスク選択モードにする。



**MDA-W933J**

「FUNC」を押して、<FUNC>インジケーターを点灯させる。



2 「1」～「6」のいずれかを押す。ディスク選択モード(ディスク1～6)「1」～「6」はディスクNo.1～6に相当する。ディスク選択モード(ディスク7～12)「1」～「6」はディスクNo.7～12に相当する。



# MD/CD/チェンジャー操作

## 曲のイントロだけを聴くSCAN (スキャン)

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

- 1 「SCAN」を押す。  
次の曲から順に、曲の初め（イントロ）だけが約10秒間ずつ演奏される。
- 2 聴きたい曲が見つかったら再度「SCAN」を押す。  
その曲の演奏を続ける。



M.I.X.演奏中、REPEAT演奏中にSCANモードにすると、M.I.X.、REPEATモードは解除されます。

## 曲順を変えて聴くM.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「M.I.X.」を押して、M.I.X.モードをONにする。  
順不同に曲を演奏する。



- 2 解除するには、再度「M.I.X.」を押す。



REPEAT演奏中、SCAN演奏中にM.I.X.モードをONにすると、REPEAT、SCANモードは解除されます。  
チェンジャーを接続したとき、「M.I.X.」を押すことで、「M.I.X. ALL」が指定できます。

- ・「M.I.X.」を指定  
ディスクの曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していきます。
- ・「M.I.X. ALL」を指定  
1曲ずつディスクを変えながら演奏します。

## 繰り返し聴くREPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 演奏中に「REPEAT」を押して、RPTモードをONにする。  
選んだ曲を繰り返し演奏する。



- 2 解除するには、再度「REPEAT」を押す。



SCAN演奏中、M.I.X.演奏中にREPEATモードをONにすると、SCAN、M.I.X.モードは解除されます。  
チェンジャーを接続したとき、「RPT ALL」が指定できます。  
「RPT ALL」を指定すれば、そのディスクを繰り返し演奏させることができます。

チェンジャー操作のとき、  
曲のイントロだけを聴く / 曲順を変えて聴く /  
繰り返し聴く



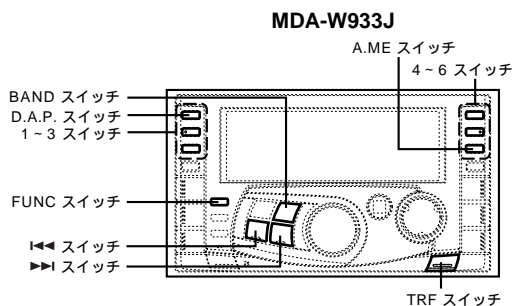
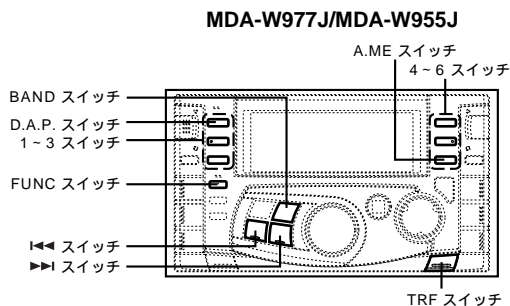
上記機能の操作をする場合は、「FUNC」を押して、ディスク選択モードを解除してください。

**MDA-W977J/MDA-W955J**

「FUNC」を一度押すと、現在のモードを表示します。モード表示中に「FUNC」を押して、SCROLL/M.I.X./REPEAT/SCAN操作モードにしてください。

**MDA-W933J**

「FUNC」を押して、<FUNC>インジケーターを消灯させてください。

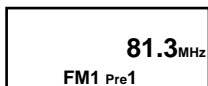


## ラジオ操作

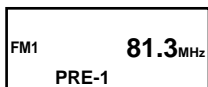
### 放送局を記憶する

- 1 「ラジオを聴く」(9ページ)を参照して、記憶させたい放送局に周波数を合わせる。
- 2 「1」～「6」のうち1つを2秒以上押す。押されたNo.に、放送局が記憶される。

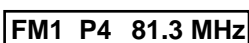
MDA-W977J



MDA-W955J



MDA-W933J



MDA-W977J/MDA-W955J

「FUNC」を一度押して、プリセットモードになっていることを確認してください。D.A.P./MONO/TUNE/A.MEMO操作モードになっている場合は、モード表示中に「FUNC」を押して、プリセットモードにさせてから、操作を行ってください。

MDA-W933J

<FUNC>インジケータが点灯している場合は、「FUNC」を押して、<FUNC>インジケータを消灯させてから、操作を行ってください。放送局は24局まで記憶できます。FM1...6局、FM2...6局、AM...6局、FM+AM...6局(D.A.P.)すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

### 自動的に放送局を記憶する (AUTO MEMORY)

- 1 「BAND」を押して受信したいバンドを表示させる。  
→FM1→FM2→AM←
- 2 「FUNC」を押して、ファンクションモードにする。

MDA-W977J/MDA-W955J

「FUNC」を一度押すと、現在のモードを表示する。モード表示中に「FUNC」を押して、D.A.P./MONO/TUNE/A.MEMO操作モードにする。

プリセットモード ↔ ファンクションモード  
(D.A.P./MONO/TUNE/A.MEMO操作モード)

MDA-W933J

「FUNC」を押して、<FUNC>インジケータを点灯させる。

FUNC ↔ (消灯)

- 3 「A.ME」を押す。  
電波の強い順に6つの放送局が自動的に受信されて「1」～「6」に記憶される。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信される。
- 4 「FUNC」を押して、ファンクションモードを解除する。

MDA-W977J/MDA-W955J

「FUNC」を一度押すと、現在のモードを表示する。モード表示中に「FUNC」を押して、プリセット(PRESET)モードにする。

MDA-W933J

「FUNC」を押して、<FUNC>インジケータを消灯させる。



放送局を1つも受信できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

## 記憶した放送局を受信する

- 1 「BAND」を押してバンドを選ぶ。

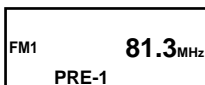
→FM1→FM2→AM←

- 2 「1」～「6」のうち1つを押す。  
選択した放送局を受信される。

MDA-W977J



MDA-W955J



MDA-W933J

FM1 P4 81.3 MHz



MDA-W977J/MDA-W955J

「FUNC」を一度押して、プリセットモードになっていることを確認してください。  
D.A.P./MONO/TUNE/A.MEMO操作モードになっている場合は、モード表示中に「FUNC」を押して、プリセットモードにさせてから、操作を行ってください。

MDA-W933J

<FUNC>インジケーターが点灯している場合は、「FUNC」を押して、<FUNC>インジケーターを消灯させてから、操作を行ってください。

## D.A.P.を利用する

D.A.P.とは

通常はバンドFM1にFM局だけ6つ、バンドAMにAM局だけ6つというように帯域毎に記憶します。D.A.P.を使うと「バンド」を意識することなく、6つのプリセットボタンにFMとAMを混在して記憶することができます。受信する放送局が限られているときなどに便利です。

## D.A.P.の切りかえ

<D.A.P.のON/OFF切りかえは、ファンクションモードのときに行う。>

- 1 「FUNC」を押して、ファンクションモードにする。

MDA-W977J/MDA-W955J

「FUNC」を一度押すと、現在のモードを表示する。  
モード表示中に「FUNC」を押して、  
D.A.P./MONO/TUNE/A.MEMO操作モードにする。

プリセットモード ↔ ファンクションモード  
(D.A.P./MONO/TUNE  
/A.MEMO操作モード)

MDA-W933J

「FUNC」を押して、<FUNC>インジケーターを点灯させる。

↓  
FUNC ↔ (消灯)

- 2 「D.A.P.」を押して、D.A.P.の設定を切りかえる。
- 3 「FUNC」を押して、ファンクションモードを解除する。

MDA-W977J/MDA-W955J

「FUNC」を一度押すと、現在のモードを表示する。  
モード表示中に「FUNC」を押して、プリセット  
(PRESET)モードにする。

MDA-W933J

「FUNC」を押して、<FUNC>インジケーターを消灯させる。

## 放送局を記憶する

- 1 D.A.P.がONのとき、放送局を選択して記憶させる。  
放送局の選択・記憶方法は「放送局を記憶する」(12ページ)または「自動的に放送局を記憶する」(12ページ)を参照。

## 記憶した放送局を受信する

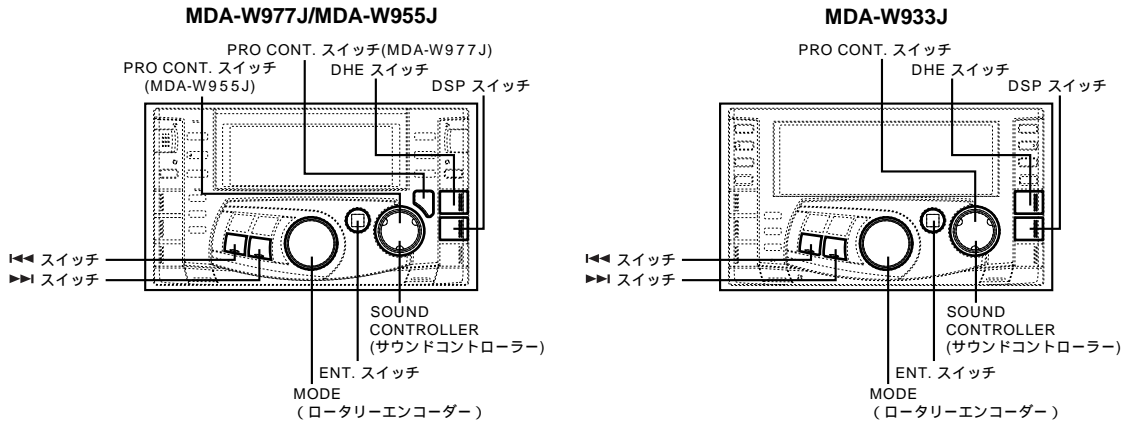
- 1 D.A.P.がONのとき、「1」～「6」のうち1つを押す。  
選択された放送局を受信される。

## 道路交通情報を受信するTRF (トラフィックインフォメーション)

- 1 「TRF」を2秒以上押す。  
TRFモードになり、AM放送の1620KHz、または1629KHzの交通情報を受信する。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、1620KHz/1629KHzを切りかえる。
- 3 解除するには、再度「TRF」を2秒以上押す。



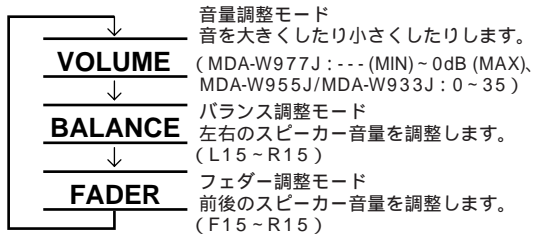
CD、MD、チェンジャー、ラジオのいずれかを聴いていても、交通情報を受信できます。



## サウンド調整

### 音量 / バランス / フェダーの調整

1 「MODE」を押して調整したいモードを選ぶ。



2 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、好みのレベルに調整する。

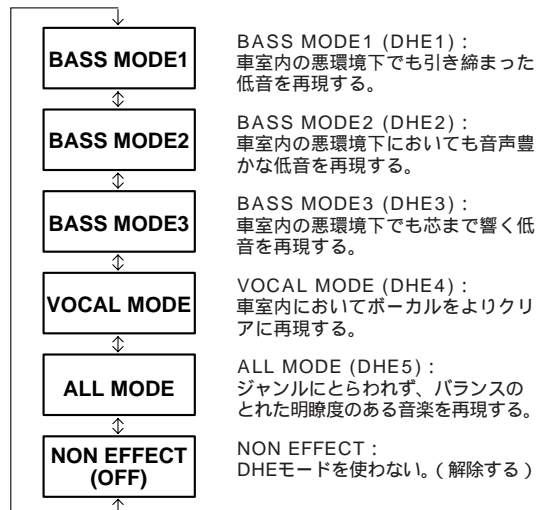
#### Memo

3WAY/2WAY切りかえスイッチ(38ページ参照)を「3WAY」に設定している場合、フェダー調整はできません。  
(MDA-W977J/MDA-W955Jのみ)  
SUB-W(サブウーハー)が「ON」に設定されている場合は、SUB-Wのレベル調整も行えます。  
音量調整はモードを選択していなくても調整ができます。  
モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。  
製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなってきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。

### DHEモードを選ぶ

DHE(Digital Harmonics Enhancer)は、各楽器やボーカルの音を際立たせ、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。DHEはCD/MD/ラジオの、どのモードでも有効ですが、特にMDは、高度な圧縮方法で録音されているので効果的です。

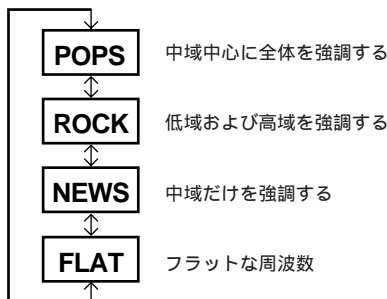
- 1 「DHE」を押す。  
DHE選択モードに入る。
- 2 10秒以内に「◀◀」または「▶▶」を押して好みのモードを選ぶ。



3 「ENT.」を押してDHEモードを決定する。

## イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ

- 1 「PRO CONT.」を押してPRO CONTROL MODEをOFFにする。  
インジケーターが青色になる。
- 2 「DSP」を押してEQモードを選ぶ。  
→ EQ → SUR → L.P.S. → (OFF) →  
ディバイダーの調整 (23ページ) をしている場合、または3WAY/2WAY切りかえスイッチ (38ページ) を「3WAY」に設定した場合は、選択できません。
- 3 10秒以内に「◀◀」または「▶▶」を押す。  
好みのイコライザー特性を選ぶ。



## MDA-W955J/MDA-W933Jのみ

## グラフィックEQを調整する

- 1 「PRO CONT.」を押してPRO CONTROL MODEをONにする。  
インジケーターがオレンジ色になる。
- 2 「DSP」を押して、EQモードを選ぶ。  
→ EQ → SUR → TCR → (OFF) →  
ディバイダーの調整 (23ページ) をしている場合、または3WAY/2WAY切りかえスイッチ (38ページ) を「3WAY」に設定した場合は、選択できません。
- 3 「◀◀」または「▶▶」を押して、調整したい周波数を選ぶ。  
-----\*-----
- 4 「サウンドコントローラー」を回転させて、好みのレベルに調整する。  
さらに別の周波数帯を調整するには手順3、4を繰り返し調整を行う。
- 5 調整が終了したら「ENT.」を押す。



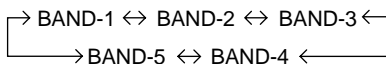
調整した内容は、記憶させることができます。さらに、「DHE」なども合わせて記憶できますので、他の調整も行った後に記憶させることをお勧めします。記憶方法は「DSP条件の記憶」(17ページ)を参照してください。

## MDA-W977Jのみ

## パラメトリックEQを調整する

パラメトリックEQとは周波数可変やQの調整ができるもので、車室内周波数特性の補正として用いられています。車室内ではピークやディップが発生し、その周波数やピーク/ディップの幅(Q)が異なっており、これらを合わせて補正することができます。例えば、車室内の100~300Hzでは低域を強調する場合、その周波数付近に「こもり音」を発生する周波数が隣接しています。低域のみを強調するには、このパラメトリックEQが有効なのです。

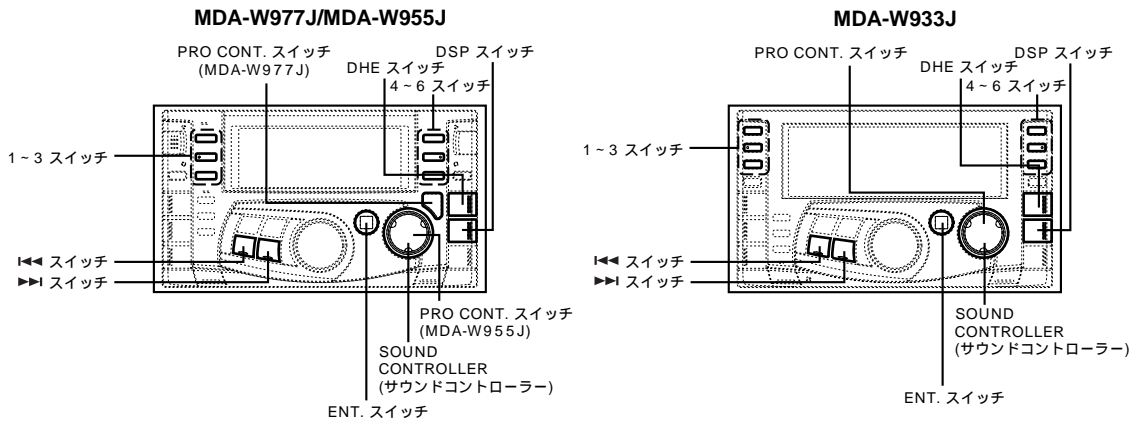
- 1 「PRO CONT.」を押してPRO CONTROL MODEをONにする。
- 2 「DSP」を押してパラメトリックEQモードを選ぶ。  
→ PARAME. EQ → SUR → TCR → (OFF) →  
ディバイダーの調整 (23ページ) をしている場合、または3WAY/2WAY切りかえスイッチ (38ページ) を「3WAY」に設定した場合は、選択できません。
- 3 「サウンドコントローラー」を回転させて、「BAND-1」を選び、「ENT.」を押して決定する。



- 4 「サウンドコントローラー」を回転させて、周波数を選び、「ENT.」を押して決定する。
- 5 「サウンドコントローラー」を回転させて、レベル調整を行い、「ENT.」を押して決定する。
- 6 「サウンドコントローラー」を回転させて、バンド幅(Q)を調整し、「ENT.」を押して決定する。
- 7 次のバンドを調整するには「ENT.」を押す。
- 8 上記手順4~7を繰り返し、全てのバンドを調整する。全てのバンド(BAND-5まで)の調整が終わると調整確認が表示される。
- 9 調整確認が表示されたら、「サウンドコントローラー」を回転させて「OK」を選び「ENT.」を押して決定する。「NG」を選ぶと一つ前の状態へ戻る。



調整途中で終了させるときは、「DSP」を2秒以上押してください。「◀◀」または「▶▶」を押すことで、調整モードを移行することができます。隣り合うバンドの周波数は4ステップ以内に調整することはできません。200Hz以下に設定できるバンドは2つまでです。



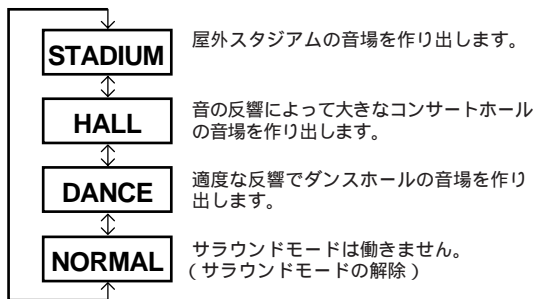
## サラウンドモード (メーカー設定) を選ぶ

本機は、DSP (デジタルシグナルプロセッシング) を使って様々な音響空間を作り出すことができます。音楽ソースに応じてサラウンドモードを選ぶことができます。

- 1 「PRO CONT.」を押してPRO CONTROL MODEをOFFにする。  
インジケーターが青色になる。
- 2 「DSP」を押してSURモードを選ぶ。

→ EQ → SUR → L.P.S. → (OFF) →

- 3 10秒以内に、「◀◀」または「▶▶」を押す。  
お好みのサラウンドモードを選ぶ。



MDA-W977J/MDA-W955Jでディバイダーの調整 (23ページ) をしている場合、または3WAY/2WAY切りかえスイッチ (38ページ) を「3WAY」に設定した場合は、サラウンドモードを選ぶことはできません。

## サラウンドレベル/タイムの調整

サラウンドレベル/タイムを調整することで音響空間の広がり調整することができます。

例えば、「HALL」でSUR Level/SUR Timeを+方向に調整することにより、大きなホールでの音場を再現することができます。

- 1 「PRO CONT.」を押してPRO CONTROL MODEをONにする。  
インジケーターがオレンジ色になる。

- 2 「DSP」を押して、サラウンドレベル/タイムモードを選ぶ。

→ EQ → SUR → TCR → (OFF) →

### 3 サラウンドレベル調整

「◀◀」または「▶▶」を押してサラウンドレベル調整モードを選ぶ。

「サウンドコントローラー」を回転させて、お好みのSUR LEVELを調整する。

SUR LEVELは、-4 ~ +4までの段階に調整することができる。

### サラウンドタイム調整

「◀◀」または「▶▶」を押してサラウンドタイム調整モードを選ぶ。

「サウンドコントローラー」を回転させて、お好みのSUR TIMEを調整する。

SUR TIMEは、-4 ~ +4までの段階に調整することができる。



## 4 調整が終了したら「ENT.」を押して決定する。



MDA-W977J/MDA-W955Jでディバイダーの調整（23ページ）をしている場合、または3WAY/2WAY切りかえスイッチ（38ページ）を「3WAY」に設定した場合は、サラウンドレベル/タイムの調整をすることはできません。

## リスニングポジションの合わせかた (L.P.S.)

音場を聴きやすい位置に移動でき、どの座席からも自然な広がりのあるサウンドが楽しめます。

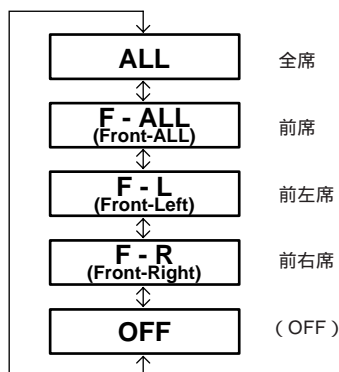
1 「PRO CONT.」を押してPRO CONTROL MODEをOFFにする。  
インジケーターが青色になる。

2 「DSP」を押してL.P.S.モードを選ぶ。

→ EQ → SUR → L.P.S. → (OFF) →

ディバイダーの調整（23ページ）をしている場合、または3WAY/2WAY切りかえスイッチ（38ページ）を「3WAY」に設定した場合は、選択できません。

3 10秒以内に「◀◀」または「▶▶」を押す。  
お好みの位置を選ぶ。



## DSP条件の記憶

メーカー設定および自分で作った条件を記憶させることができます。

1 メーカー設定を選ぶか、または自分でカーブを作った後（14～17ページ参照）「1」～「6」のいずれか1つを2秒以上押す。  
これで選んだ条件が記憶される。  
さらに記憶するには上記手順を繰り返す。



DHE/イコライザー/リスニングポジションの状態を記憶させることができます。  
PRO CONTROL MODEがOFF（インジケーターが青色）のときは、10秒以内に操作を行ってください。

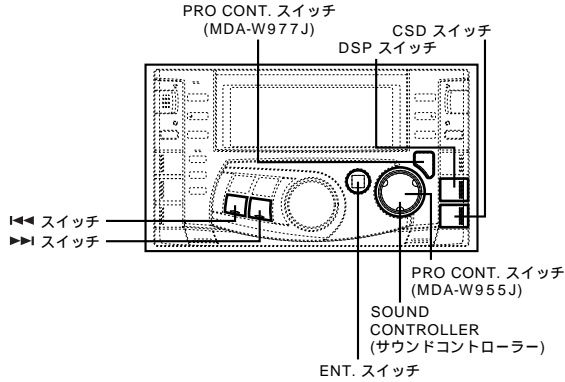
## 記憶したDSP条件の呼び出し

1 「DSP」（または「DHE」）を押して、いずれかのモード（SUR/TCR以外）を選択する。  
2 呼び出したい「1」～「6」のうち1つを押すと、記憶した条件を呼び出せる。

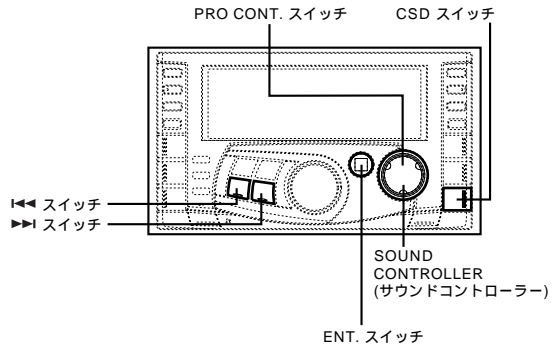


PRO CONTROL MODEがOFF（インジケーターが青色）のときは、10秒以内に操作を行ってください。

MDA-W977J/MDA-W955J



MDA-W933J



## カスタマイズサウンドデータベースを使う (Customized Sound Database)

本機にはカスタマイズサウンドデータベースが搭載されています。

約230車種(2DINサイズ装着可能車のみ)の中から使用車種を選び自分の車に最適な音響を再現することができます。更に使用フロントスピーカーの口径やツイーター、サブウーハーの有無、シート材質(車の仕様がわからない場合はディーラーなどにお問い合わせください。)を設定することで車室内の細かな音響の調整ができ、お客様の使用環境に合わせた最適な音響空間を再現することができます。車種データベースについては、45ページの車種一覧を参照してください。

- 1 「PRO CONT.」を押してPRO CONTROL MODEをONにする。  
インジケーターがオレンジ色になる。
- 2 「CSD」を2秒以上押す。(MDA-W933Jは「CSD」を軽く押す。)
- 3 「サウンドコントローラー」を回転させて、車種の頭文字を選び、「ENT.」を押して決定する。
- 4 「サウンドコントローラー」を回転させて、自分の車種を選び、「ENT.」を押して決定する。  
(45ページの車種一覧を参考にする。)  
本機には約230車種のデータベースが搭載されている。データベースに、該当する車種がない場合は、45ページからの車種一覧を参考に「RV」や「SEDAN」または、「Kei Car (軽自動車)」などの車種タイプを選ぶ。
- 5 「サウンドコントローラー」を回転させて、フロントスピーカーの種類を選び、「ENT.」を押してスピーカーを決定する。

→ 10cm ↔ 13cm ↔ 16cm ↔ DDDrive 13cm ↔ DDDrive 16cm ←  
(DDDriveはアルパイン製品です。)

- 6 「サウンドコントローラー」を回転させて、セパレートツイーターの有無を選択し、「ENT.」を押して決定する。

○ ↔ ×  
(セパレートツイーター有り) (セパレートツイーター無し)  
ツイーター(高音出力用のスピーカー)が車に装着されている場合

- 7 「サウンドコントローラー」を回転させて、サブウーハーの有無を選択し、「ENT.」を押して決定する。

○ ↔ ×  
(サブウーハー有り) (サブウーハー無し)

- 8 「サウンドコントローラー」を回転させて、シートの材質を選び、「ENT.」を押して決定する。

LEATHER ↔ CLOTH  
(皮) (布)

- 9 すべての設定が終了したら、「サウンドコントローラー」を回転させて、「OK」または「 」を選び、「ENT.」を押して決定する。

OK / :  
設定した内容で、車室内の音響空間の自動設定を行う。  
NG / x :  
一つ前の状態へ戻る。  
更に前に戻るには、「◀◀」を押す。次の設定へは「▶▶」を押す。

- 10 設定途中で設定を解除するには、「CSD」を2秒以上押す。(MDA-W933Jは「CSD」を軽く押す。)

## MDA-W977Jのみ

### 自動的に時間補正を行う (Auto Time Correction)

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。本機は付属の測定用マイクで自動的に計測、分析して最適な時間補正を行います。

#### 1 準備する。

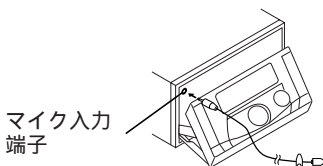
- 1) 車を騒音のない静かな場所に停車させる。
- 2) 車のドア、窓などを閉める。

#### 2 マイクを取り付ける。

- 1) 運転席のヘッドレスト中央に付属のマイクを上向きにして固定する。固定するには、ひもやベルトなどを利用する。



- 2) ディスプレイ角度を調整してマイクの入力端子を見える状態にする。ディスプレイ角度の調整は6ページを参照。  
「▲ CD」または「MD ▲」を押して、ディスプレイが開き切った状態では、取り付けない。
- 3) マイク入力端子に接続する。



#### 3 車のエンジンキーをACCのポジションにする。

振動により、適切な調整値が得られない場合があるのでエンジンはかけない。

騒音により自動設定が行えない場合があるので、エアコンやヒーターがONになっているときはすべてOFFにする。

#### 4 「PRO CONT.」を押してPRO CONTROL MODEをONにする。

インジケーターがオレンジ色になる。

#### 5 「DSP」を押して、TCRモードを選ぶ。

→ EQ → SUR → TCR → (OFF) →

ディバイダーの調整(23ページ)をしている場合、または3WAY/2WAY切りかえスイッチ(38ページ)を「3WAY」に設定した場合は、選択できません。

- 6 「サウンドコントローラー」を回転させて、「AUTO」を選び、「ENT.」を押す。  
マイクを接続していない場合は、「AUTO」は選択できない。

**AUTO** ↔ **MANUAL**

- 7 カウントダウンが始まったら、10秒以内に車外に出てドアを閉める。



- 8 カウントダウンが終わると、自動測定モードとなり、現在の動作(ラジオやCD)を停止する。

約10秒間、自動測定を行う。

自動測定中(約10秒間)は、ドアを開けない。

計測した結果をディスプレイに表示して、自動測定が終了する。

測定内容は、Preset1(スイッチ1)に記憶される。

- 9 車内に戻り、Preset1に記憶されていることを確認して、マイクを取り外す。

#### **Memo**

マイクを接続していない場合は、TCR AUTOは選択できません。自動的に時間補正を行う場合は必ず付属のマイクを接続してから行ってください。

測定中はすべての操作は無効になります。マイクを取り付ける位置によって測定内容は違います。

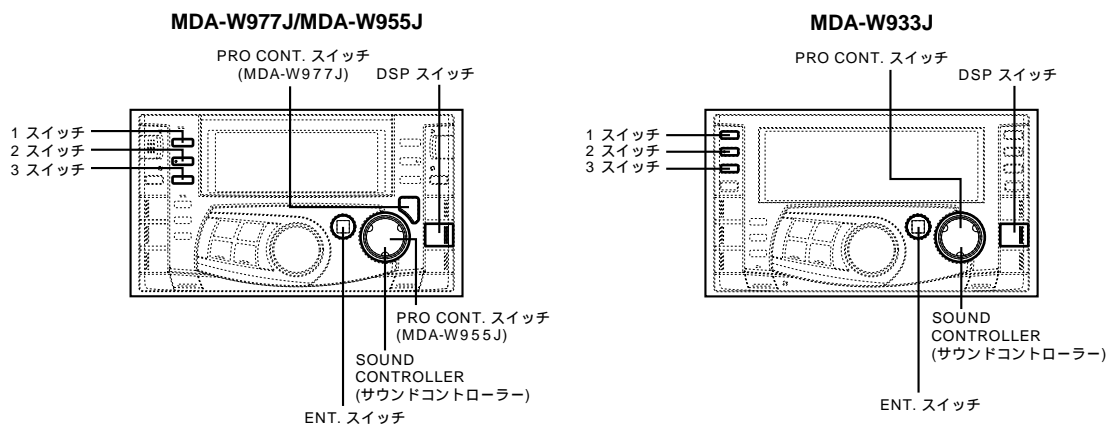
自動測定は何回でも行えますが、記憶はPreset1(スイッチ1)のみですので、前回の測定内容は解除されます。

スピーカーなどが故障している場合または、スピーカーなどの接続・配線が正しくない場合は、自動測定できないことがあります。それぞれのスピーカーなどを確認後、再度自動調整を行ってください。

マイクを接続した状態ではディスプレイは閉じることができません。使用後は、必ずマイクを取り外してください。

エンジンをかけない状態で長時間使用するとバッテリー上がりのおそれがありますので、ご注意ください。

サブウーハーは自動測定できません。手動で設定してください。「手動で時間補正を行う」(20ページ)参照。



## 手動で時間補正を行う

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、手動での補正方法について説明します。

- 1 リスニングポジション（運転席など）に座り、頭の位置と各スピーカーの距離（m）を測定する。
- 2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する。  
 $L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$
- 3 スピーカーごとに算出した距離を音速（343m/s 気温20）で割る。  
 その値が各スピーカーの時間補正值となる。

### 具体例

1. 下記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正值を算出する。

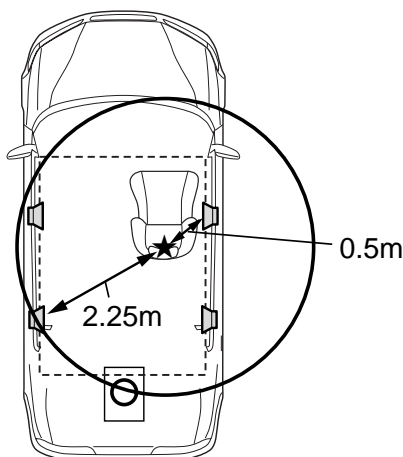
（条件）：

- 一番遠いスピーカー～リスニングポジション：2.25m
- フロント右側スピーカー～リスニングポジション：0.5m

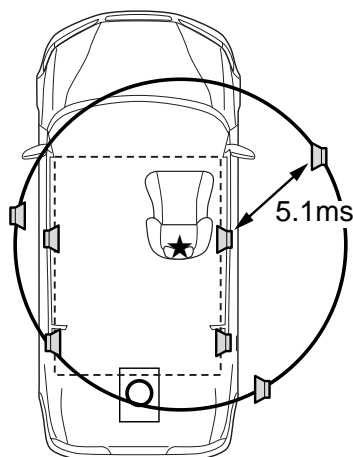
（算出）： $L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

補正時間 =  $1.75 \div 343 \times 1000 = 5.1 \text{ (ms)}$

そこで、フロント右側スピーカーの時間補正值に5.1（ms）を与えることで、見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。  
 右前スピーカーと左後スピーカーでは1.75mの差がある。



時間補正により到達時間差が解消される。  
 右前スピーカーに5.1msの時間補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

4 「PRO CONT.」を押してPRO CONTROL MODEをONにする。  
インジケーターがオレンジ色になる。

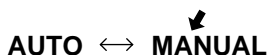
5 「DSP」を押して、TCRモードを選ぶ。



ディバイダーの調整(23ページ)をしている場合、または3WAY/2WAY切りかえスイッチ(38ページ)を「3WAY」に設定した場合は、選択できません。

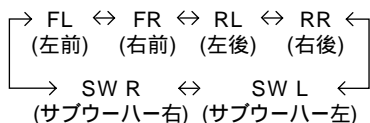
## 6 MDA-W977Jのみ

「サウンドコントローラー」を回転させて、「MANUAL」を選び、「ENT.」を押して決定する。  
マイクを接続していない場合は、「AUTO」は選択できない。



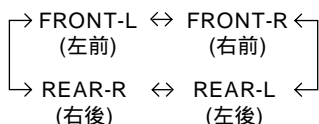
## 7 MDA-W977J/MDA-W955J

「サウンドコントローラー」を回転させて、「FL」(左前)を選び、「ENT.」を押して決定する。



### MDA-W933J

「サウンドコントローラー」を回転させて、「FRONT-L」(左前)を選び、「ENT.」を押して決定する。



8 「サウンドコントローラー」を回転させて、時間補正值(0.0~20.0)を調整し、「ENT.」を押して決定する。

9 次のスピーカーを調整するには「ENT.」を押す。

10 上記手順8と9を繰り返し、全てのスピーカーを調整する。

### MDA-W977J/MDA-W955Jのみ

全てのスピーカー(SWRまで)の調整が終わると調整確認が表示される。

## 11 MDA-W977J/MDA-W955Jのみ

調整確認が表示されたら、「サウンドコントローラー」を回転させて「OK」または「」を選び「ENT.」を押して決定する。  
「NG」または「x」を選ぶと一つ前の状態へ戻る。



調整途中で終了させるときは、「DSP」を2秒以上押してください。  
「◀◀」または「▶▶」を押すことで、調整モードを移行することができます。

## 時間補正值の記憶

調整した時間補正值を記憶させることができます。

1 20ページの操作で時間補正を調整した後、「1」「2」「3」(MDA-W977Jは「2」「3」)のいずれか1つを2秒以上押す。  
これで時間補正が記憶される。  
さらに記憶するには上記手順を繰り返す。  
MDA-W977Jでは、スイッチ「1」は自動調整専用のメモリーとなるため、手動で調整した内容は記憶されない。

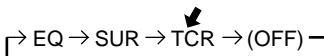


調整した時間補正值は、メモリー1と2と3(MDA-W977Jはメモリー2と3)に記憶させることができます。

## 記憶した時間補正值の呼び出し

1 「PRO CONT.」を押してPRO CONTROL MODEをONにする。  
インジケーターがオレンジ色になる。

2 「DSP」を押して、TCRモードを選ぶ。



ディバイダーの調整(23ページ)をしている場合、または3WAY/2WAY切りかえスイッチ(38ページ)を「3WAY」に設定した場合は、選択できません。

3 呼び出したい「1」~「3」のうち1つを押す。



MDA-W977Jでは、スイッチ「1」は自動調整専用のメモリーとなっています。自動調整(19ページ)の内容を呼び出す場合は、「1」を押してください。

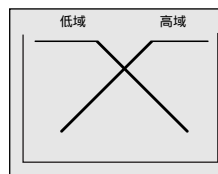
## ディバイダーとは

本機は、パワーアンプで増幅される前の帯域分割が可能なアクティブ デバイディング ネットワークを搭載しています。そのため、スピーカーとアンプの間に置かれたパッシブネットワークは不要となり、各アンプは完全に独立した動作が可能です。干渉問題がなくなり、スピーカーの能力に見合った再生周波数を分割することで最適な音響空間を再現します。

各バンドのHPF（ハイパスフィルター）LPF（ローパスフィルター）の調整、スロープ（フィルター特性の減衰の傾き）レベルを設定します。

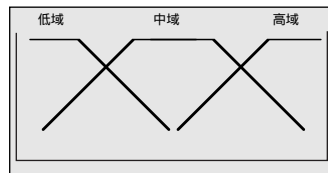
接続しているスピーカーの再生周波数帯域や特性に合わせて調整してください。

2Way モード	カットオフ周波数帯域 (1/3オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz~200Hz	—	FLAT, 6,12,18, 24dB/oct.	0~-12dB
リアハイレンジ スピーカー	20Hz~200Hz	—	FLAT, 6,12,18, 24dB/oct.	—	0~-12dB
フロントハイレンジ スピーカー	20Hz~200Hz	—	FLAT, 6,12,18, 24dB/oct.	—	0~-12dB

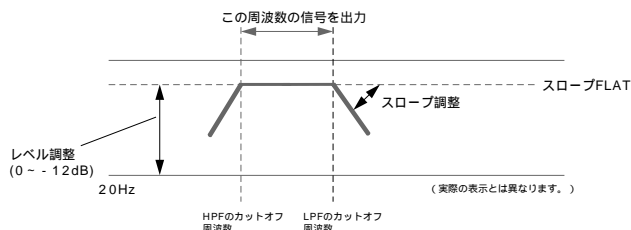


(実際の表示とは異なります。)

3Way モード	カットオフ周波数帯域 (1/3オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz~200Hz	—	FLAT, 6,12,18, 24dB/oct.	0~-12dB
ミッドレンジ スピーカー	20Hz~200Hz	20Hz~20kHz	FLAT, 6,12,18, 24dB/oct.	FLAT, 6,12,18, 24dB/oct.	0~-12dB
ハイレンジ スピーカー	20Hz~20kHz	—	FLAT, 6,12,18, 24dB/oct.	—	0~-12dB



(実際の表示とは異なります。)



(実際の表示とは異なります。)

### Memo

HPF（ハイパスフィルター）はある周波数より下の音域（低域）をカットして、高域の成分を通すフィルターです。  
 LPF（ローパスフィルター）はある周波数より上の音域（高域）をカットして、低域の成分を通すフィルターです。  
 スロープとは周波数が1オクターブ高または低くなったとき、信号が何dB減衰するかを表す値です。  
 スロープの数値が大きいかほど傾きは急になります。  
 スロープをFLATにすると、信号がフィルターを通過しないため効果はなくなります。  
 ツィーターは低域信号入力によって、故障の原因になる危険性があります。  
 同じチャンネル内でHPFとLPFの周波数を重ねる調整は行わないでください。また、HPFとLPFの周波数を超える調整はできません。  
 ハイレンジのHPFは通常、FLAT以外で使用します。  
 ハイレンジHPFのフィルターをFLATに設定した場合は、音量を上げすぎないでください。スピーカー故障の原因になります。

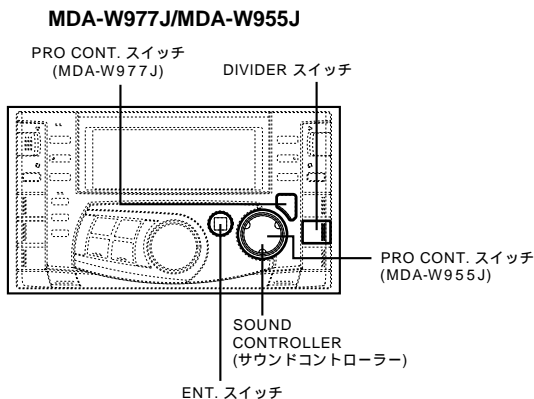
3WAY/2WAY切りかえスイッチ（38ページ）を「3WAY」にした場合や、ディバイダーの調整（23ページ）を行った場合はサラウンドモードを選択することはできません。  
 サラウンドモードを選択したいときは、3WAY/2WAY切りかえスイッチ（38ページ）を「2WAY」にするかディバイダーの調整（23ページ）を初期値に戻してください。



### 2Wayシステム

#### 初期値

BAND	周波数	スロープ	LEVEL	位相
SUB-W	80Hz	FLAT(0dB)	0dB	0°
REAR	80Hz	FLAT(0dB)	0dB	
FRONT	80Hz	FLAT(0dB)	0dB	



## MDA-W977J/MDA-W955Jのみ

### ディバイダーの調整

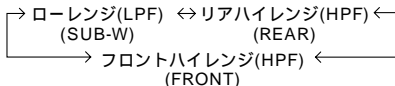
ここでは、ディバイダーの調整手順を説明します。操作の前に、「ディバイダーとは」(22ページ)を参照してください。

- 1 「PRO CONT.」を押してPRO CONTROL MODEをONにする。  
インジケーターがオレンジ色になる。

- 2 「DIVIDER」を2秒以上押す。

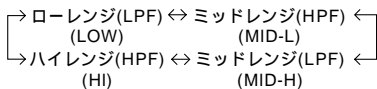
#### 2Wayシステム

「サウンドコントローラー」を回転させて、「SUB-W」(サブウハー)を選び、「ENT.」を押して決定する。



#### 3Wayシステム

「サウンドコントローラー」を回転させて、「LOW」(ローレンジ)を選び、「ENT.」を押して決定する。



- 4 「サウンドコントローラー」を回転させて、希望のカットオフ周波数(クロスオーバーポイント)を選び、「ENT.」を押して決定する。

#### 2Wayシステム

各チャンネルは20Hz~200Hz(1/3オクターブステップ)の周波数を選択できる。

#### 3Wayシステム

ローレンジ(LPF)/ミッドレンジ(HPF)は20Hz~200Hz(1/3オクターブステップ)  
ミッドレンジ(LPF)/ハイレンジ(HPF)は20Hz~20kHz(1/3オクターブステップ)の周波数を選択できる。

- 5 「サウンドコントローラー」を回転させて、スローブを調整し、「ENT.」を押して決定する。  
スローブは6dB/12dB/18dB/24dB/Flat調整が可能。

- 6 「サウンドコントローラー」を回転させて、出力レベルを調整し、「ENT.」を押して決定する。  
レベルは-12~0の調整が可能。

- 7 次のバンドを調整するには「ENT.」を押す。

- 8 上記手順4~7を繰り返し、全てのバンドを調整する。  
全てのバンド(FRONT/Hiまでの)の調整が終わると調整確認が表示される。

- 9 調整確認が表示されたら、「サウンドコントローラー」を回転させて「OK」または「 」を選び「ENT.」を押して決定する。  
「NG」または「x」を選ぶと一つ前の状態へ戻る。

#### Memo

バンド選択で「SUB-W」または「LOW」を選んだときは、手順6のあとにさらに次の操作で位相を切りかえることができます。

- 1 「サウンドコントローラー」を回転させて、位相(0°/180°)を切りかえ、「ENT.」を押して決定する。

調整途中で終了させるときは、「DIVIDER」を2秒以上押してください。

「◀◀」または「▶▶」を押すことで、調整モードを移行することができます。  
ディバイダーの調整はリセットしても消去されません。

2Wayシステムと3Wayシステムについて本機底部の3Way/2Way切りかえスイッチと連動しています。(38ページ参照)

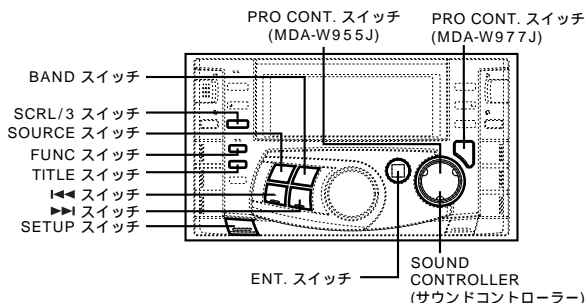
#### 3WAY



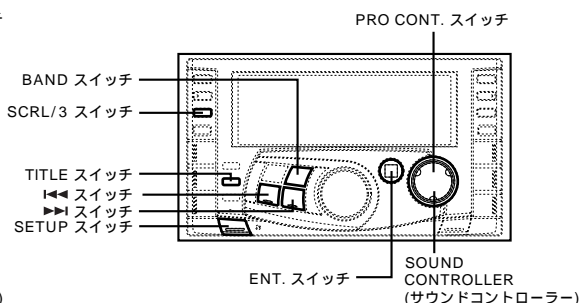
F/R/Sub-W  
(出荷時)

3Way設定時：  
3Wayシステムとして操作可能。  
F/R/Sub-W設定時：  
2Wayシステムとして操作可能。

MDA-W977J/MDA-W955J



MDA-W933J



## タイトル/テキスト操作

### タイトル/テキスト/スクロールとは

この説明書で使用する「タイトル」、「テキスト」、「スクロール」という言葉のちがいについて説明します。

タイトルとは

文字の入力と表示ができることを言います。本機の場合は「CD」や「ラジオ放送局」の名称をタイトルとしてつけることができます。「MD」には、文字入力はできませんが、本機以外の製品で入力した文字を表示することができます。製品によっては文字を正確に表示できない場合もあります。

テキストとは

あらかじめCDに入力されている文字の表示ができることを言います。



マークがついているものにはテキストが入っています。

製品によっては文字を正確に表示できない場合もあります。

タイトル/テキスト入力表示一覧

処理 モード	タイトル		テキスト	
	入力	表示	入力	表示
MD	x		x	x
CD			x	
ラジオ			x	x

スクロールとは

文字を次々と表示させることを言います。本機では、「MANUALモード」とスクロールを繰り返す「AUTOモード」を搭載しています。

「MANUALモード」のとき、再スクロールを行うには（CD/MDモードのとき）

1 「SCRL」を押す。

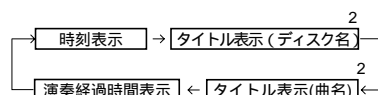


### タイトル/テキストを表示する

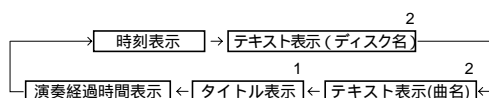
「ラジオ放送局」や「CD」に本機からタイトルを入力していれば、タイトルを表示させることができます。また、CDテキスト対応の音楽CDやMDの演奏中に、ディスク名/トラック名などを表示させることもできます。

#### 1 「TITLE」を押す。

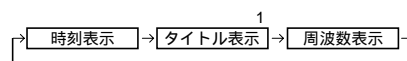
（MD/MDチェンジャーモードのとき）



（CD/CDチェンジャーモードのとき）



（TUNERモードのとき）



- 1 タイトルが入っていない場合は **NO TITLE** と表示される。
- 2 CDテキスト/MDタイトルが入っていない場合は **NO TEXT** と表示される。



CDチェンジャーでテキスト表示するのは、CD-TEXT対応のCDチェンジャーのみです。MDA-W977J/MDA-W955Jはタイトル/テキスト表示中、演奏経過時間も表示します。グラフィックスクリーンの設定によっては、タイトル/テキストなどが表示されない場合があります。詳しくは、「グラフィックスクリーンを切りかえる」(27ページ)を参照してください。



## スクロールの設定

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「3」を押して、スクロールの設定を切りかえる。

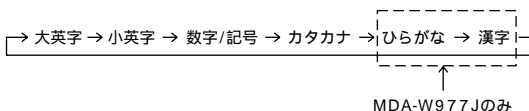
### SCROLL AUTO ↔ SCROLL MANUAL (工場出荷時の設定)

- 3 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常表示モードに戻る。

## タイトルをつける

お好みの「ラジオ放送局」や「CD」、CDチェンジャーの「CD」にタイトルをつけることができます。MDA-W955J/MDA-W933Jでは「カタカナ」「アルファベット」「数字/記号」の入力が可能です。MDA-W977Jでは「ひらがな」「カタカナ」「アルファベット」「数字/記号」「漢字」の入力が可能です。ただし、CDチェンジャー内のディスクには「ひらがな」と「漢字」の入力はできません。「カタカナ」「アルファベット」「数字/記号」の一部は入力できます。

- 1 「PRO CONT.」を押してPRO CONTROL MODEをONにする。  
インジケーターがオレンジ色になる。
- 2 タイトルをつけたいCDまたはラジオ放送局を選ぶ。  
(8~10ページ参照)
- 3 「TITLE」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。  
詳しくは「タイトル/テキストを表示する」(24ページ)を参照。
- 4 「TITLE」を2秒以上押す。
- 5 「BAND」を押して、文字の種類を選ぶ。



本機では、MDにタイトルを入力することはできません。  
記憶した内容は、バッテリー電源コードを外すと消去されます。  
曲にタイトルをつけることはできません。

- 6 アルファベット/数字/記号/カタカナ/ひらがな入力  
(ひらがな入力は、MDA-W977Jのみ)

- ① 「サウンドコントローラー」を回転させて、入力したい文字を選ぶ。  
・ ページは「◀◀」または「▶▶」で切りかえる。  
(MDA-W977J/MDA-W955Jのみ)
- ② 「ENT.」を押して、1桁目を確定させる。

### 漢字入力 (MDA-W977Jのみ)

- ① 「◀◀」または「▶▶」を押して、入力したい漢字の読み(音読み)を選ぶ。
- ② 「サウンドコントローラー」を回転させて、入力したい漢字を選ぶ。漢字列は「FUNC」で切りかえる。
- ③ 「ENT.」を押して、漢字を選択する。

- 7 5~6を繰り返し16桁(CDチェンジャーは8桁)まで入力できる。

タイトルを修正したいとき

### MDA-W977J/MDA-W955J

タイトル入力モード中に「SOURCE」を押して、タイトル編集モードを選び、「サウンドコントローラー」を回して修正したい部分にカーソルを合わせ、再度「SOURCE」を押して、タイトル入力モードに戻して編集する。

### MDA-W933J

タイトル入力モード中に「◀◀」または「▶▶」を押して、修正したい部分にカーソルを合わせ、タイトルを入力する。

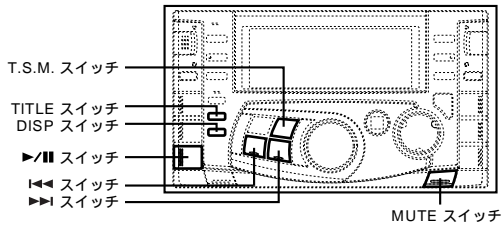
- 8 入力したタイトルを記憶させるには、最後の文字を確定させた後、「TITLE」を押す。

- 9 タイトル表示モードを解除するには、「TITLE」を押して、表示モードを切りかえる。

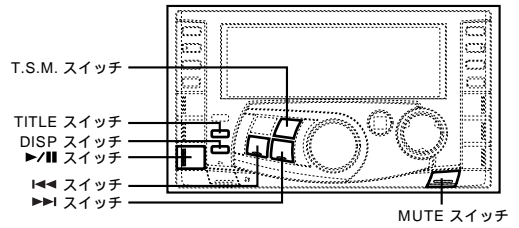


ラジオ放送局には最大24局(FM/AM合わせて)まで、タイトルをメモリーできます。  
TV(Ai-NET対応)を接続している場合は、ラジオ放送局と同じようにタイトルを入力することができます。(24局まで)  
本機内蔵のCDは最大CD18枚分までタイトルメモリーできます。  
ディスプレイに「FULL DATA」と表示されたときは、不要なタイトルを消してから、入力してください。  
タイトル名を消すには空白を選び、入力してください。  
CDチェンジャーの場合は機種によってメモリー数が異なります。

MDA-W977J/MDA-W955J



MDA-W933J



## 記憶したタイトルから選ぶ (CDチェンジャーのみ)

記憶したCDタイトルから聴きたいCDチェンジャー内のディスクを選び出すことができます。

- 1 CDチェンジャーモードのときに、「TITLE」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。  
詳しくは、「タイトル/テキストを表示する」(24ページ)を参照。
- 2 「T.S.M.」を2秒以上押す。  
選択モードになり、タイトルが表示される。
- 3 「◀」または「▶」を押して、聴きたいディスクのタイトルを選ぶ。
- 4 「▶/■」を押す。  
選択モードが解除され、聴きたいタイトルのディスクを演奏する。

# 便利な機能

## ミュートのON/OFF

- 1 「MUTE」を押す。  
瞬時に音量が下がる。
- 2 解除するには、再度「MUTE」を押す。

## グラフィックスクリーンを切りかえる

- 1 「DISP」を押す。  
グラフィックデザインのパターンの中から好みのパターンを選ぶ。

### MDA-W977J

No.	表示内容
1	各SOURCEの基本画面 (BASIC SOURCE DISPLAY)
2	基本画面 + 音連動背景 (BASIC)
3	2画面分割表示 (DUAL DISPLAY)
4	時間連動セーバー (TIME LINK SAVER)



「DISP」を押して、タイトルや時刻表示を選ぶときは、上記No.1を選んでください。また、時刻はどのパターンでも設定できます。

### MDA-W955J

No.	表示内容
1	Auto Volume (AUTO VOLUME with CSD)
2	BATTモニター (VOLTAGE)
3	2層スベアナ (2 Layer)
4	2層スクリーン (2 Layer SCREEN)
5	時系列スベアナ (OUTPUT INDICATOR)
6	デジタルスベアナ (DIGITAL DISPLAY)
7	時間連動セーバー (TIME LINK SAVER)
8	サイレントモード (SILENT SCREEN)
9	1～8までのSCAN表示 (SCAN SCREEN)



BATTモニター表示のバッテリー電圧値はおおよその値です。参考程度に使用してください。全てのパターンでタイトルや時刻を表示することができませんが、時刻は設定できます。

### MDA-W933J

No.	表示内容
1	ノーマルスベアナ (NORMAL)
2	BATTモニター (VOLTAGE)
3	MIXスベアナ (UP/DN MIX)
4	FLASHスベアナ (PEAK FLASH)
5	時系列スベアナ (OUTPUT IND.)
6	流量スベアナ (SOUND SHOWER)
7	2層スクリーン (SCREEN SAVER)
8	時間連動セーバー (TIME LINK SAVER)
9	サイレントモード (SILENT SCREEN)
10	1～9までのSCAN表示 (SCAN SCREEN)



BATTモニター表示のバッテリー電圧値はおおよその値です。参考程度に使用してください。全てのパターンでタイトルや時刻の表示、時刻の設定をすることができます。(上記No.2 BATTモニター表示では「TITLE」を押してタイトルや時刻を表示した場合、5秒後に電圧値表示に変わります。)

### MDA-W977Jのみ

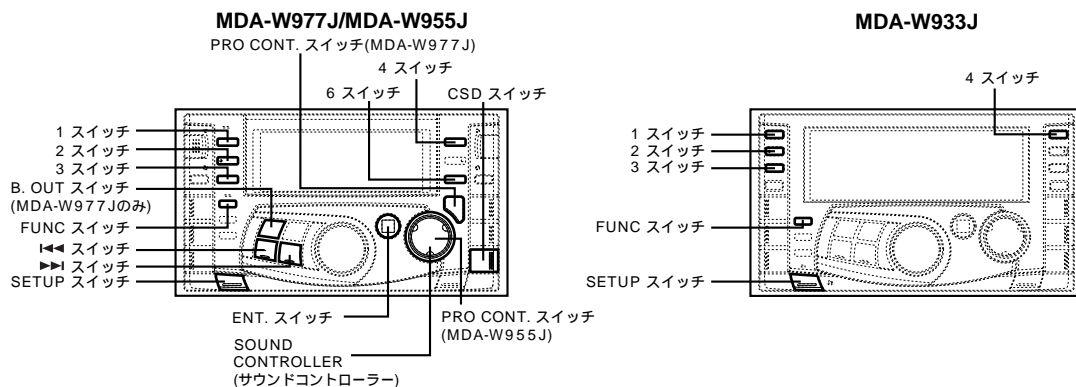
## DUAL DISPLAY表示を切りかえる

- 1 DUAL DISPLAY表示中に「DISP」を2秒以上押す。
- 2 「DISP」を押して左右の操作画面を切りかえる。
- 3 「◀◀」または「▶▶」を押して表示を切りかえる。  
グラフィックデザインのパターンの中から好みのパターンを選ぶ。
- 4 「DISP」を2秒以上押して決定する。

No.	左画面	右画面
①	BATTモニター表示	縮小基本表示
②	Auto Volume表示 (AUTO VOL ON時)	縮小基本表示 + 音連動背景画面
③	-	デジタルスベアナ
④	-	時系列スベアナ + ノーマルスベアナ



BATTモニター表示のバッテリー電圧値はおおよその値です。参考程度に使用してください。



## MDA-W977J/MDA-W955Jのみ

### オートボリュームのON/OFF

エンジンノイズやロードノイズなどのノイズ成分を検出して、適切な音量レベルに自動補正するオートボリュームの設定をします。

- 1 「PRO CONT.」を押してPRO CONTROL MODEをOFFにする。  
インジケーターが青色になる。
- 2 「CSD」を押す。
- 3 「◀◀」または「▶▶」を押して、ON/OFFを切り替え、「ENT.」を押して決定する。

ON ↔ OFF

## MDA-W977J/MDA-W955Jのみ

### オートボリュームのレベルを設定する

適切な音量レベルに自動補正するオートボリュームの音量レベルを設定します。

- 1 「PRO CONT.」を押してPRO CONTROL MODEをONにする。  
インジケーターがオレンジ色になる。
- 2 「CSD」を押す。
- 3 「サウンドコントローラー」を回転させて、HiまたはLoを選び、「ENT.」を押して決定する。

Hi ↔ Lo

Hi :  
オートボリュームの音量レベルを、大きめに設定する。  
Lo :  
オートボリュームの音量レベルを、小さめに設定する。

## 操作音の切り替え

スイッチを押したときに操作音を鳴らして、操作を受けたことを伝えます。また操作音の音量をお好みに合わせて調整することができます。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「1」を押して、SOUND GUIDEのレベル（OFF、1～5）を調整する。

### SOUND GUIDE 3 （工場出荷時の設定）

- 3 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常表示モードに戻る。



可動ディスプレイの警告ブザーは、上記の設定に関係なくブザーを鳴らします。  
MDなどの音量が大きいと、操作音が聞こえない場合があります。

## MDA-W977Jのみ

### ディスプレイ表示をOFFにする （BLACK OUT機能）

ディスプレイ表示を消灯することで、より良い高音質を実現させることができます。

- 1 「B. OUT」を2秒以上押す。  
ディスプレイ表示が消える。
- 2 解除するには再度、「B. OUT」を2秒以上押す。



ディスプレイ表示が消灯しているときに他のスイッチ操作を行ったときは、ディスプレイ表示を5秒間だけ点灯させ、5秒後再び消灯させます。

MDA-W977J/MDA-W955Jのみ

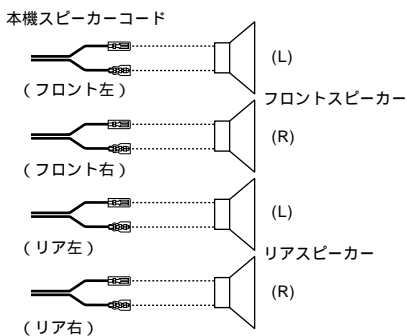
外部アンプを接続する

外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。次の手順で「PWR IC VOLT OFF」にしてください。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「6」を押してPWR IC VOLT OFFにする。

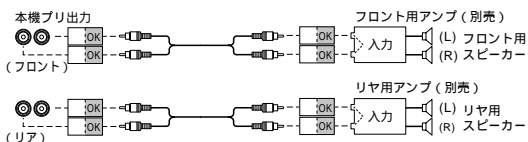
**PWR IC VOLT OFF** ↔ **PWR IC VOLT ON**  
(工場出荷時の設定)

**PWR IC VOLT ON**  
内蔵アンプでスピーカーを駆動するときに設定する。



**Memo** このシステムで「PWR IC VOLT OFF」に設定すると音は出ません。

**PWR IC VOLT OFF**  
本機のフロント/リアプリ出力と外部アンプをつないで、スピーカーを駆動するときに設定する。このとき、本機のスピーカーコードからは出力されない。



- 3 設定が終了したら、「SETUP」を押す。  
通常表示モードに戻る。

時刻を設定する

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「FUNC」を押して、ファンクションモードにする。

MDA-W977J/MDA-W955J

「FUNC」を一度押すと、現在のモードを表示する。モード表示中に「FUNC」を押して、DEMO/CLOCK ADJUST操作モードにする。

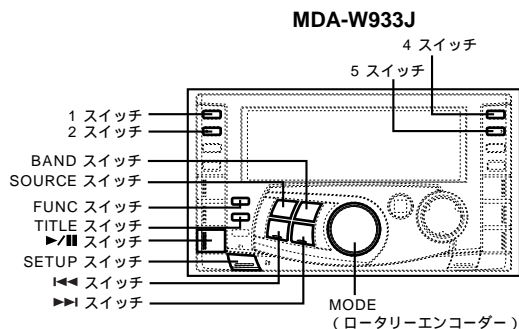
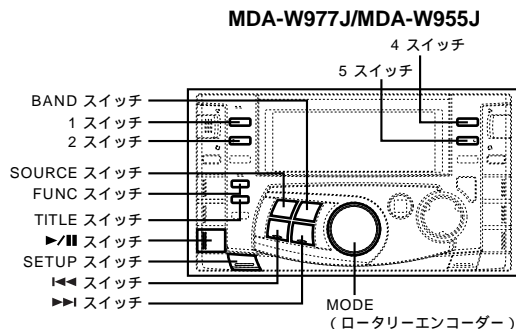
MDA-W933J

「FUNC」を押して、<FUNC>インジケータを点灯させる。

**FUNC** ↔ (消灯)

- 3 「2」を押して時刻設定モードにする。
- 4 「2」を押して、「時」を設定する。
- 5 「3」を押して、「分」を設定する。
- 6 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
通常表示モードに戻る。

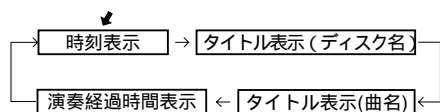
**Memo** 時報に合わせたいときは、「時」設定後に「4」を押すと「分」表示が「00」となります。「:30」を超えた表示のときに「4」を押すと「時」は繰り上がります。どのモード(MD、ラジオ、チェンジャーなど)でも時刻を設定することができます。



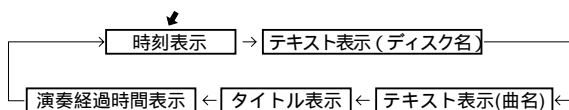
## 時刻を表示する

- 1 「TITLE」を繰り返し押しして、時刻表示モードを選ぶ。

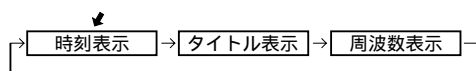
(MD/MDチェンジャーモードのとき)



(CD/CDチェンジャーモードのとき)



(TUNERモードのとき)



電源がOFFの状態では、時刻表示はできません。時刻を表示している状態で、ラジオ/MDなどを操作すると、行った操作を数秒間表示した後、時刻表示に戻ります。グラフィックスクリーンの設定によっては、時刻が表示されない場合があります。詳しくは、「グラフィックスクリーンを切りかえる」(27ページ)を参照してください。

## デモンストレーション機能

本機には、表示演出のみの動作をディスプレイに表示させるデモンストレーション機能が用意されています。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「FUNC」を押して、ファンクションモードにする。

### MDA-W977J/MDA-W955J

「FUNC」を一度押すと、現在のモードを表示する。モード表示中に「FUNC」を押して、DEMO/CLOCK ADJUST操作モードにする。

### MDA-W933J

「FUNC」を押して、<FUNC>インジケータを点灯させる。

▼  
FUNC ↔ (消灯)

- 3 「1」を押して、DEMO ONにする。
- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。  
デモンストレーションモードになり、表示演出のみの動作を自動的に行う。  
デモンストレーションをご使用になったら、必ず解除する。

## デモンストレーション機能を解除する

リセットした後や、初めて電源をONした場合は、自動的にデモンストレーションが開始されます。また、デモンストレーションをご使用になった場合も、必ず以下の方法でデモンストレーションを解除してください。


- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「FUNC」を押して、ファンクションモードにする。

**MDA-W977J/MDA-W955J**

「FUNC」を一度押すと、現在のモードを表示する。モード表示中に「FUNC」を押して、DEMO/CLOCK ADJUST操作モードにする。

**MDA-W933J**

「FUNC」を押して、<FUNC>インジケータを点灯させる。

 FUNC ↔ (消灯)

- 3 「1」を押して、DEMO OFFにする。
- 4 設定が終了したら「SETUP」を押す。


## 拡張ユニット操作

### サブウーハーを接続する

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「4」を押して、Subwoofer ONにする。

 Subwoofer ON ↔ Subwoofer OFF

- 3 設定が終了したら「SETUP」を押す。通常表示モードに戻る。
- 4 「MODE」を押してSubwooferモードを選ぶ。

↳ VOLUME →  Subwoofer → BALANCE → FADER ↳

- 5 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、サブウーハー出力のレベル(0~+15)を調整する。



モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。MDA-W933Jの場合、サブウーハーを使うには、ローパスフィルター(一定の周波数以下の成分を通すフィルター)内蔵のアンプをお使いください。

## 外部割り込みモードの設定

Ai割り込みBOX(NVE-K200)などと組み合わせると、音楽CD再生対応ナビゲーションでのCD音声やテレビの音声を本機に割り込ませることができます。組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくはNVE-K200側の説明書を参照してください。

- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「2」を押して、MUTE OFFにする。

 MUTE OFF ↔ MUTE ON  
(工場出荷時の設定)

- 3 設定が終了したら「SETUP」を押す。通常表示モードに戻る。

## 外部入力の設定

別売のAi-RCA変換ケーブル(KCA-121B)やVersatile Link Terminal(KCA-410C)と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを本機に入力させることができます。

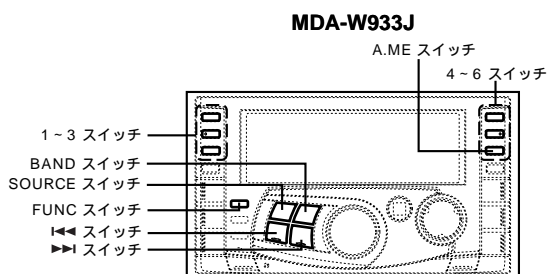
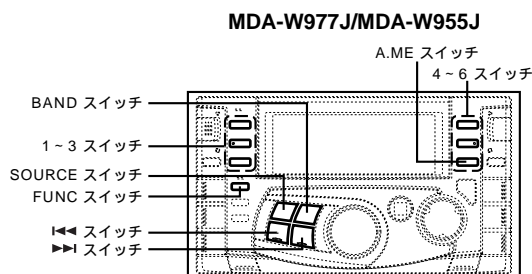
- 1 「SETUP」を3秒以上押す。
- 2 「5」を押して、AUX IN ONにする。

 AUX IN ON ↔ AUX IN OFF  
(工場出荷時の設定)

- 3 設定が終了したら「SETUP」を押す。通常表示モードに戻る。
- 4 「SOURCE」を押して、AUX(外部入力)モードを選び、音量などを調整する。



Versatile Link Terminal(KCA-410C)を使用し、テレビやビデオなど2台の製品を接続している場合は、「BAND」を押して製品を選びます。



## TV (Ai-NET対応) を操作する

Ai-NET対応のTVを組み合わせた場合に本機から一部の操作が行えます。

### 放送局を選ぶ

- 1 「SOURCE」を押して、TVモードにする。



- 2 「BAND」を押してバンドを選ぶ。



- 3 「<<<」または「>>>」を2秒以上押して、放送局を選ぶ。



チャンネルを1段階ずつ変えるには「<<<」または「>>>」を軽く押してください。

### 選んだ放送局を記憶する < 手動記憶 >

- 1 「放送局を選ぶ」を参照して記憶させたい放送局に合わせる。
- 2 「1」～「6」のうち1つを2秒以上押す。  
押されたNo.に放送局が記憶される。

### 選んだ放送局を記憶する < 自動記憶 >

- 1 「BAND」を押して記憶させたいバンドを選ぶ。



- 2 「FUNC」を押して、ファンクションモードにする。

#### MDA-W977J/MDA-W955J

「FUNC」を一度押すと、現在のモードを表示する。  
モード表示中に「FUNC」を押して、A.ME操作モードにする。

プリセットモード ↔ ファンクションモード  
(A.ME操作モード)

#### MDA-W933J

「FUNC」を押して、<FUNC>インジケーターを点灯させる。

FUNC ↔ (消灯)

- 3 「A.ME」を押す。  
電波の強いチャンネルを選択し、「1」～「6」に記憶される。
- 4 「FUNC」を押して、ファンクションモードを解除する。

#### MDA-W977J/MDA-W955J

「FUNC」を一度押すと、現在のモードを表示する。  
モード表示中に「FUNC」を押して、プリセット (PRESET) モードにする。

#### MDA-W933J

「FUNC」を押して、<FUNC>インジケーターを消灯させる。

### 記憶した放送局を受信する

- 1 「BAND」を押してバンドを選ぶ。



- 2 「1」～「6」のうち1つを押す。  
ダイレクトに放送局が受信される。



# リモコン操作 (MDA-W977J/MDA-W955Jのみ)

## 使用時のご注意

リモコンは、リモコン送信部をリモコンセンサーに向け2メートル以内でお使いください。

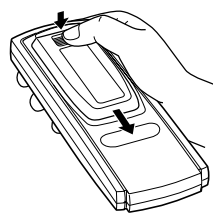
リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。

リモコンは小型軽量の精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。

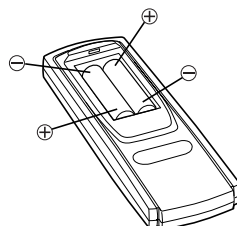
衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気やホコリを避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。

## 電池を入れる

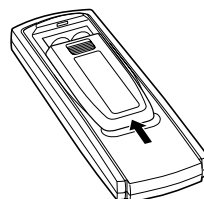
- 1 フタを開ける  
フタを少し強めに押しながら矢印の方向へ押す。



- 2 電池を入れる  
本体の⊕、⊖表示通り入れる。



- 3 フタを閉める  
“カチッ”と音がして固定される。

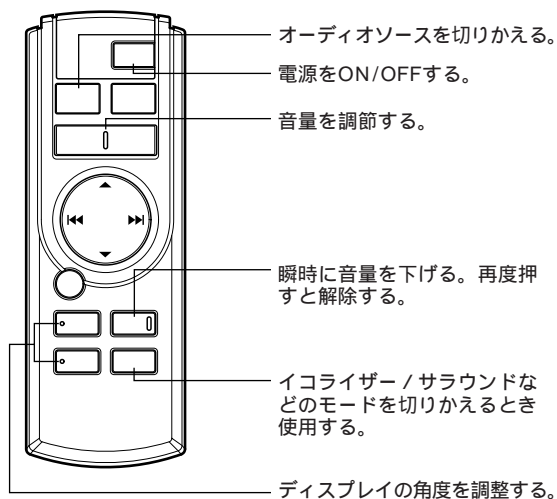


電池は単4乾電池 (UM-4) × 2をご使用ください。

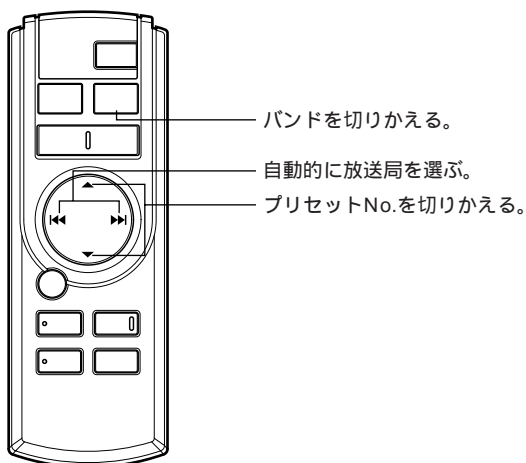
### ⚠ 警告

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。

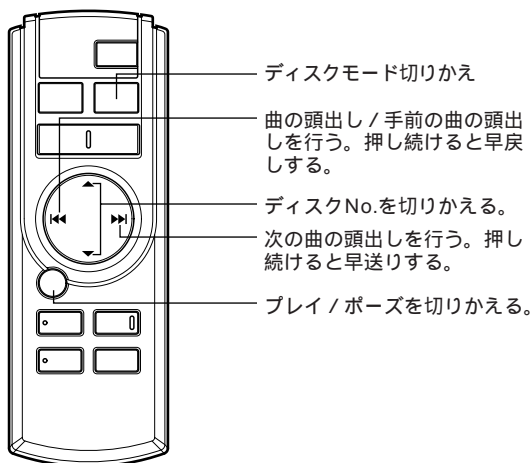
## 基本操作



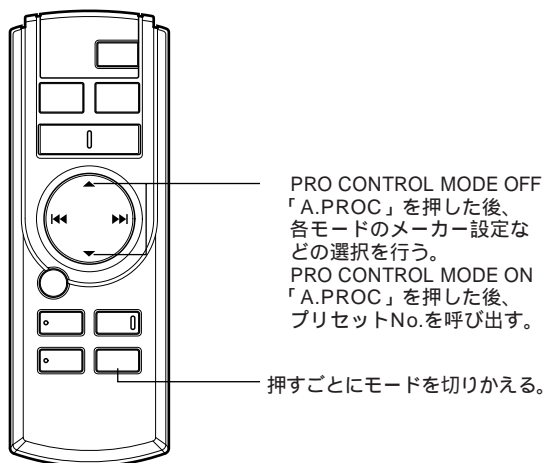
## ラジオ操作



## MD/CD/チェンジャー操作



## DSP操作





# 取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～3ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

## 1. 正しい作業のコツ

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。

### ・RCAコード、ピンコード

家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ/ビデオ/テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。

- スピーカーの接続  
純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。  
スピーカーは、インピーダンスが3.2～8のものをお使いください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 取り付け場所について  
ディスプレイ開閉の際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。
- 水平に対して35度以内に取り付けてください。
- 不明な点はお買い上げ店/インフォメーションセンターにお問い合わせください。

## 2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
- 付属部品を確認し、工具/取り付け情報をそろえる。



- バッテリーのマイナス端子を外す。
- 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。
- 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
- オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。（ブラケットは、4.取り付けの2.で利用します。）

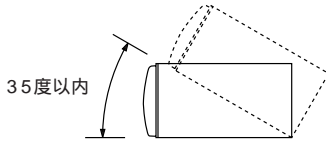
## 3. 接続する

- 37ページの基本接続図を参照して接続する。  
他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。誤接続を防ぐために、接続するごとに✓点をつけてください。
- ヘッドユニットに電源コードを接続する。  
「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、✓点がもれているところはないか確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーをONにして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。  
固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 本機の電源を切る。
- イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

## 4. 取り付ける

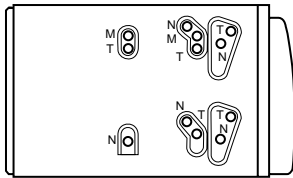
取り付けの際は必ず、フロントパネルを付けた状態で行ってください。フロントパネルを外した状態で取り付けると故障の原因となります。

1. ディスプレイ開閉の際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。



2. 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。

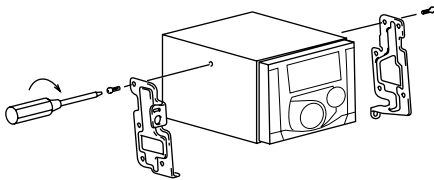
取り付け用ネジ穴



N穴 ニッサン車 M穴 ミツビシ車  
T穴 トヨタ車・三菱車  
取り付けの車種により異なります。

### 「日産車へ取り付ける際のご注意」

日産車へ取り付ける際は、必ず別売の「取付キット FN-247」または市販の「日産取付専用キット」をお買い求めの上、本機付属のネジで取り付けてください。取付キットを使用しないで取り付けると故障の原因になります。

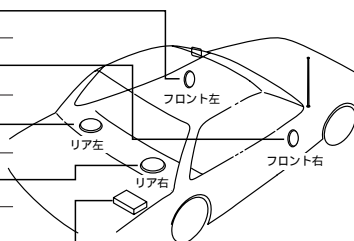
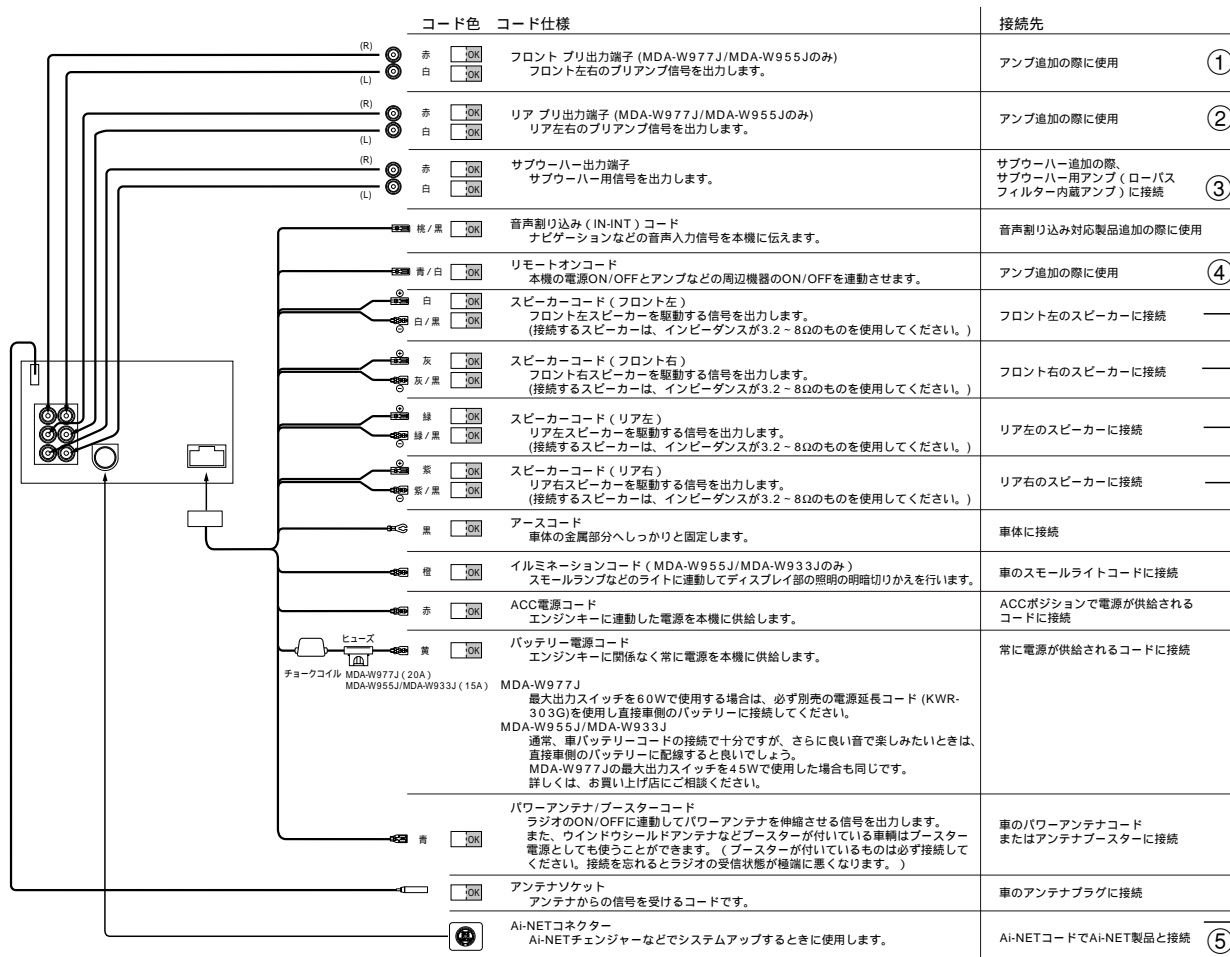


3. 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
4. インパネを取り付ける。
5. コード類を固定する。  
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
6. バッテリーマイナス端子を接続する。

## 5. 確認する

1. イグニッションキーをONにして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
2. ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

## 基本接続図



IN-INTの接続について  
IN-INTコードは次の組み合わせ時に使用します。  
音声認識対応のナビゲーションと組み合わせる。  
音声認識対応のナビゲーションのミュートコードに接続します。音声認識操作のとき本機の音量を小さくします(ミュート)。詳しくはナビゲーション側の説明書を参照してください。

OUT-INT対応の製品と組み合わせる  
Ai割り込みBOX (NVE-K200) などとOUT-INT対応のTV (TVE-T038など) を組み合わせ使用するとき接続します。TVの音声を本機に割り込ませます。詳しくはNVE-K200やTV側の説明書を参照してください。



上記接続先の丸番号は、6. システムアップの例で使用します。

## スイッチ切りかえについて

スイッチを理解する。

取り付け前やシステムアップを行うとき、スイッチの切りかえが必要になる場合があります。

切りかえは次の手順で行ってください。

- 1) 電源コードを抜く。
- 2) 棒状のものを垂直に挿入する。
- 3) 指定のポジションに切りかえる。
- 4) 電源コードを接続する。

### MDA-W977Jのみ

#### 最大出力切りかえスイッチについて

最大出力を60Wにすることができます。

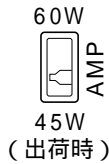
60Wで使用する場合、組み合わせるスピーカーが「最大入力60W以上」「インピーダンス 3.2～8 Ω」であることを必ず確認してください。

指定以外のスピーカーをお使いになると、スピーカーの発火・発煙・破損の原因になります。

また、本機とバッテリーの接続には、必ず別売の電源延長コード（KWR-303G）を使用し直接車側のバッテリーへ接続してください。接続方法については、別紙の「ご注意」を参照してください。

上記条件以外は、必ず45Wのままで使用してください。

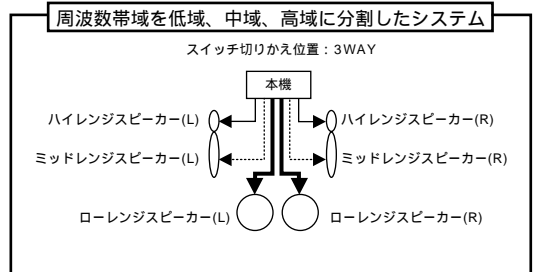
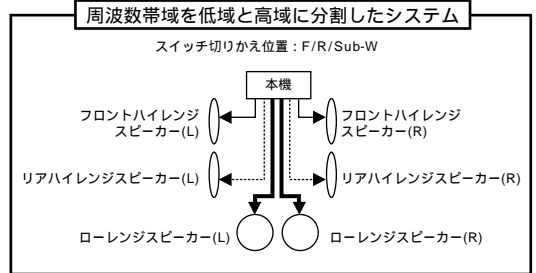
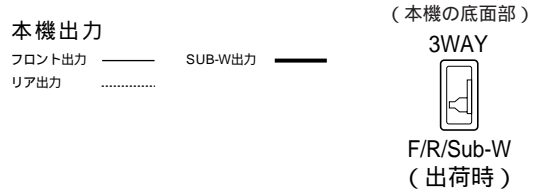
(本機の底面部)



### MDA-W977J/MDA-W955Jのみ

#### 3WAY/2WAY切りかえスイッチ

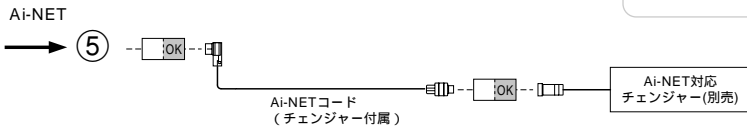
下記システム図を参考にスイッチを切りかえてください。詳しくはお買い上げ店にご相談ください。



**Memo** ローレンジスピーカーへの接続は本機のSUB-W出力コードを使用します。フロント出力/リア出力は内蔵アンプを利用することもできます。「3WAY」に設定した場合、フェダー調整はできません。また、サラウンドモードを選ぶこともできません。

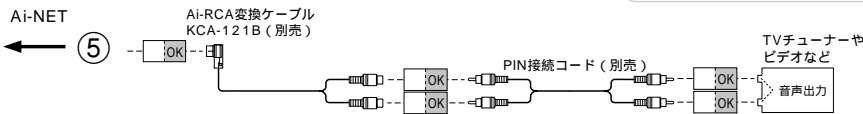
## 6. システムアップの例

チェンジャーを接続する。



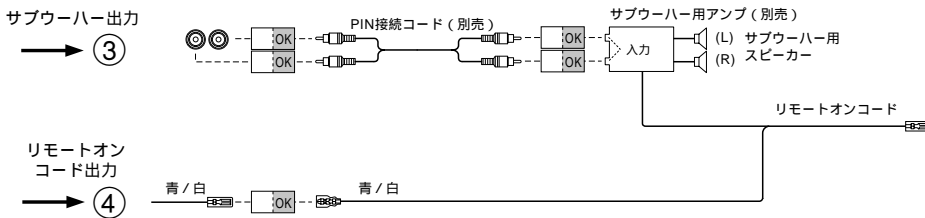
チェンジャーは1台のみ接続可能です。

外部入力にビデオなどを接続する。



取扱説明書の「外部入力の設定」(31ページ)を参照してください。

サブウーハーアンプを接続する。

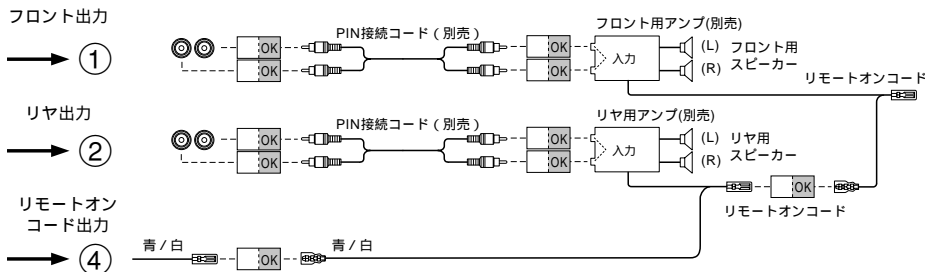


必要に応じてローパスフィルター内蔵のアンプを使用してください。



組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

外部アンプを接続する。(MDA-W977J/MDA-W955Jのみ)



外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。詳しくは「外部アンプを接続する」(29ページ)を参照してください。



組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

KCA-410C (Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー2台、テレビやビデオなど(外部入力)2台、計4台の製品を接続することができます。詳しくはKCA-410Cの説明書を参照してください。



# 故障かな？と思ったら

操作ミスや動連いを故障と間違えていませんか？

接続・配線は正しく行われていますか？

下の表をもう一度ご確認ください。

それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口（P42）にご相談ください。

## 共通部

動作しない。

ディスプレイに何も表示されない。

- ヒューズが切れている。
  - 規定容量のヒューズと交換する。( P37 )
- 内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
  - リセットスイッチをボールペンの先などで押す。( P6 )

電源が入るが音が出ない。

- 音量レベルが最小になっている。
  - 音量レベルを上げる。( P14 )
- MUTEがONになっている。
  - MUTEを解除する。( P27 )
- フェーダーの設定が適切でない。
  - 2スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。( P14 )
- アンプの設定が適切でない。( MDA-W977J/MDA-W955Jのみ )
  - 内蔵アンプを使用しているときは、アンプの設定をPWR IC VOLT ONICにする。( P29 )

電源OFFのとき、時計表示できない。

- 本機の仕様では、電源OFFのとき、時計表示はできない。
  - 電源をONにして、時刻表示モードにする。( P30 )

記憶させた内容が消えてしまった。

- リセットスイッチを押した。電源コードまたはバッテリーをはずした。
  - もう一度記憶する。( P6, 12, 17, 18, 19, 21 )
- バッテリーコードの接続ミス
  - 接続を確認する。( P37 )

ディスプレイが暗い。

- 気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
  - しばらく待つ。

警告ブザーが鳴る。

- ディスプレイが開ききった状態で約30秒経過した。
  - 「▲ CD」または「MD ▲」を押してディスプレイを閉める。( P7 )

## MD/CD部

ディスクが入らない。

- すでに別のディスクが入っている。
  - ディスクを取り出してから入れ直す。
- ディスクの入れかたが間違っている。
  - 本書を参照し、正しく入れる。( P7, 8 )

演奏が始まらない。/音がとぶ。/音が歪む。/早送り/早戻しができない。

- 車内温度が50 以上ある。
  - 車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。

- ディスクに傷が付いている。
  - ディスクがひどく汚れている。
  - 録音状態が良くない。
  - 音楽用ディスクでない。
    - 他のディスクを再生してみる。

- 結露している。
  - しばらく放置してから使う。

ディスクが勝手にイジェクトする。

- ディスクの側面/センターホールにバリがある。
  - ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除く。
  - ピックアップレンズが汚れている。
    - メンテナンスをする。(お問い合わせ窓口へ)( P42 )
    - 市販のレンズクリーナーは、使用できません。



## ラジオ部

受信できない。

雑音が入る。

- アンテナが接続されていない。
  - アンテナが確実に接続されているか確認する。( P37 )
- アンテナが伸びていない。
  - アンテナを伸ばす。
- 放送局の周波数が合っていない。
  - 周波数を正しく合わせる。( P9 )
- 周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
  - 見通しが良いところに移動する。
- アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
  - アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。

自動的に放送局が選べない。

- 電波の弱い地域にいる。
  - ディスタンスモードまたは手動で受信する。( P9 )

## メッセージが表れたら...

**NO MAGAZINE**

マガジンがCDチェンジャーにセットされていない。

- マガジンをCDチェンジャーにセットする。

**NO DISC**

ディスクが入っていない。

- ディスクを入れる。

ディスクが入っているが、「NO DISC」と表示され、演奏または、イジェクトができない。

- 次の方法でディスクを取り出す。
  - 「▲ CD」を押す。
    - 可動ディスプレイが開く。
  - 可動ディスプレイが開いた状態で「▲ CD」を3秒以上押す。

**BLANK DISC**

ディスクに曲が入っていない。(未録音ディスク)

- ディスクに曲を録音してから使用する。

**HI TEMP**

(MDA-W977J/MDA-W955J)

車内温度が高すぎる。

- 車内温度を常温まで下げる。

**HI - TEMP**

(MDA-W933J)

**NO TEXT**

テキストが入力されていない。

- CDテキスト対応のCDと交換する。
- MDにタイトルが入っていない。

**NO TITLE**

タイトルが入力されていない。

- タイトルを入力する。

**FULL DATA**

メモリーがいっぱいのため、タイトル入力できない。

- 不要なタイトルを消す。

**ERROR**

ディスク傷、ディスク汚れ。/録音状態が良くない。/音楽用ディスクでない。

- 「▲ CD」または「MD ▲」を押して、ディスクを交換する。

結露している。

- しばらく放置する。

メカニズムエラー。

- ①「▲ CD」または「MD ▲」を押して、ディスクを取り出す。イジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。
- ②ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲ CD」または「MD ▲」を押す。
- ③何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。

**ERROR-01**

ディスクがマガジンに戻っていない。

- ①「▲」を押す。
- ②空の(ディスクが入っていない)マガジンを入れ、もう一度「▲」を押してディスクを回収する。

メカニズムエラー。

- ①「▲」を押す。
- ②表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。
- ③それでも復旧しない...修理ご相談窓口へ。

**ERROR-02**

ディスクがマガジンに戻っていない。

- ①「▲」を押す。
- ②空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押してディスクを回収する。



# 規格

## チューナー部

受信周波数	AM ; 522 ~ 1,629kHz, FM ; 76.0 ~ 90.0MHz
実用感度	AM ; 22.5 $\mu$ V, FM ; 0.8 $\mu$ V (75 : ) : 9.3dBf (新IHF)
ステレオセパレーション	FM ; 45dB以上
SN比	FM ; 80dB以上
周波数特性	FM ; 30 ~ 15,000Hz
イメージ妨害比	FM ; 80dB以上
IF妨害比	FM ; 80dB以上

## MD部

周波数特性	20Hz ~ 20kHz ( $\pm$ 0.5dB )
ダイナミックレンジ	90dB ( 1kHz ) 以上
SN比	105dB ( 1kHz ) 以上
ワウフラッター	測定限界以下

## CD部

方式	光学式 (コンパクトディスク方式)
量子化ビット数	1ビット
チャンネル数	2チャンネル (ステレオ)
周波数特性	5Hz ~ 20kHz ( $\pm$ 1dB )
ダイナミックレンジ	93dB ( 1kHz ) 以上
SN比	105dB ( 1kHz ) 以上
チャンネルセパレーション	
ワウフラッター	86dB ( 1kHz ) 以上 測定限界以下

## グラフィックイコライザー部 (MDA-W955J/MDA-W933Jのみ)

バンド数	7
イコライザー周波数	63Hz/160Hz/400Hz/1kHz/2.5kHz/ 6.3kHz/16kHz

## パラメトリックイコライザー部 (MDA-W977Jのみ)

バンド数	5
イコライザー周波数	20Hz/25Hz/31.5Hz/40Hz/50Hz/ 63Hz/80Hz/100Hz/125Hz/160Hz/ 200Hz/250Hz/315Hz/400Hz/ 500Hz/630Hz/800Hz/1kHz/1.25kHz/ 1.6kHz/2kHz/2.5kHz/3.15kHz/4kHz/ 5kHz/6.3kHz/8kHz/10kHz/12.5kHz/ 16kHz/20kHz

## リモコン部 (MDA-W977J/MDA-W955Jのみ)

使用電源	DC1.5V $\times$ 2 (UM-4)
外形寸法	42 (幅) $\times$ 121 (高さ) $\times$ 23 (奥行) mm
重量	50g (電池は含まれない)

## 一般

使用電源	DC14.4V (動作範囲 ; 11 ~ 16V)
アース方式	○アース
最大出力 (MDA-W977J)	60W $\times$ 4
(MDA-W955J/MDA-W933J)	45W $\times$ 4
出力レベル	500mV/10k
外形寸法	178 (幅) $\times$ 100 (高さ) $\times$ 160 (奥行) mm
重量	2.5 kg

ドルビーラポラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

# 保証について

## 保証書について

この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。

必ず「販売店印・お買上げ日」が記入されていることをご確認ください。

保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

## アフターサービスについて

調子が悪いとき

まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子が悪いとき

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買上げ店、または42ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に、修理を依頼してください。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品

製造打切り後、最低6年間保有しています。

アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上げ店、または42ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買上げ店にお問い合わせください。

# お問い合わせ窓口

( 般 )

(平成13年3月1日現在)

## お問い合わせ窓口

製品に関するご相談 / お問い合わせは、お買い上げ店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。  
 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。  
 ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



### 製品ご相談窓口

インフォメーションセンター

・ FAX : 03-3494-1767 TEL : 03-3779-0711

・ 電話受付時間 平日9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

営業所・販売名	電話番号	住 所
東関東営業所	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1
東京営業所	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地
中部営業所	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石3丁目108番地
静岡出張所	054-283-0171	〒422-8032 静岡県静岡市有東3丁目9番1号 2F
関西営業所	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号
アルバイ北海道 (株)	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル
アルバイ東北 (株)		
仙台office (青森・ 岩手・秋田・宮城・ 山形・福島)	022-239-5331	〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町3丁目9番5号
アルバイ中四国 (株)		
岡山営業所	086-243-8257	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号
広島営業所	082-846-1175	〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2-11-16
高松営業所	087-869-3086	〒761-8071 香川県高松市伏石町1473-11
愛媛出張所	089-958-4707	〒791-1104 愛媛県松山市北土居町443-1 エクスセル12 1-B

営業所・販売名	電話番号	住 所
アルバイ九州 (株)		
福岡office	092-513-1071	〒816-0081 福岡県福岡市博多区井相田1-12-22
長崎office	0957-27-1581	〒854-0074 長崎県諫早市山川町3-13
熊本office	096-213-7118	〒862-0929 熊本県熊本市西原2-32-29
鹿児島office	099-253-7215	〒890-0034 鹿児島県鹿児島市島田上6-27-15
アルバイ関西 (株)		
高崎営業所 (群馬・栃木)	0273-61-5813	〒370-0073 群馬県高崎市緑町3丁目16-6
松本営業所	0263-48-4772	〒390-0852 長野県松本市島立830-11 深澤ビル102号
宇都宮営業所	028-610-8890	〒321-0942 栃木県宇都宮市峰2-28-12
アルバイ近畿販売 (株)		
阪和営業所	0722-58-8111	〒591-8023 大阪府堺市中区百舌鳥4丁目57番地 サンライズ中百舌鳥103号
滋賀営業所	077-566-1140	〒525-0036 滋賀県草津市草津町1660番地
アルバイ新潟販売 (株)	025-270-7021	〒950-0862 新潟県新潟市竹尾764番地6号
アルバイ埼玉販売 (株)	048-664-7701	〒331-0852 埼玉県大宮市桜木町3丁目179番地
東京アルバイ販売 (株)	03-3253-2635	〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1の13
アルバイ北陸販売 (株)	0762-40-8111	〒921-8066 石川県金沢市矢木3丁目72番1号
アルバイ三重販売 (株)	0593-80-0220	〒510-0235 三重県鈴鹿市南江島7-14
アルバイ京都販売 (株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通 堀川東入小泉町113番地の1
アルバイ兵庫販売 (株)	078-681-9711	〒652-0807 兵庫県神戸市兵庫区浜崎通5の6
アルバイ高知販売 (株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号
(株) パルス	0988-66-1916	〒900-0003 沖縄県那覇市安謝217番地3

### 修理ご相談窓口

管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所
北海道	アルバイカスタマーズ サービス (株) 札幌	011-642-1688	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目 2番1号
青森・岩手・秋田 山形・宮城・福島 栃木・茨城・群馬 東京・神奈川・埼玉 千葉・新潟・長野 山梨	アルバイカスタマーズ サービス (株) 大宮	048-664-9711	〒330-0038 埼玉県大宮市宮原町1-664
静岡・愛知 三重・岐阜	アルバイカスタマーズ サービス名神 (株) 中部	052-760-0850	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石3丁目 108番地
福井・富山・石川	アルバイカスタマーズ サービス名神 (株) 関西	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号

管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所
滋賀・京都・大阪 和歌山・奈良・兵庫	アルバイカスタマーズ サービス名神 (株) 関西	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号
岡山・鳥取・島根 広島・山口・香川 愛媛・徳島・高知	アルバイカスタマーズ サービス西日本 (株) 岡山	086-244-8163	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号
福岡・佐賀・大分 熊本・長崎・鹿児島 宮崎・沖縄	アルバイカスタマーズ サービス西日本 (株) 福岡	092-513-1081	〒816-0081 福岡県福岡市博多区井相田1丁目 12番22号

修理ご相談窓口

名称	電話番号	住所
<b>北海道</b>		
西島家電商事札幌店	011-762-0458	〒001-0825 札幌市北区新川5条2丁目3-18
北政電子(株)	011-661-2414	〒063-0033 札幌市西区西野3条3丁目5番地1号
輪島電装(株)	0138-48-8181	〒041-0824 函館市西栢楼町168番地2
千代田電装工業(株)	0166-22-8451	〒070-0034 旭川市四条通2丁目2号8-9-10
(有)北網通信機	0157-61-3843	〒090-0058 北見市高木西町6丁目4番4号
<b>青森県</b>		
(有)太陽電機	0178-45-6300	〒031-0071 八戸市沼館1-19-5
三昌電装	0178-29-4410	〒039-1163 八戸市高州2丁目23-16
<b>岩手県</b>		
(有)交通電機商事	0196-87-1561	〒020-0172 岩手郡滝沢村鶴駒字上高柳64
<b>秋田県</b>		
管電装	0188-68-2761	〒010-0802 秋田市外旭川字鼻谷境212-2
<b>山形県</b>		
カーサウンドサイト	0236-24-8963	〒990-2321 山形市桜田西3丁目4-7
(有)山王電子サービス	0234-22-1832	〒988-0841 酒田市松原南21-4
<b>宮城県</b>		
(株)日本電機サービス(仙台)	022-254-4531	〒983-0005 仙台市宮城野区福室字産興35
ササキサウンド	022-278-7117	〒981-0941 仙台市青葉区菊田町6-13
(合)佐々木電化商会	022-362-4332	〒985-0045 塩釜市西玉川111-20
大苗代電機	0225-22-4986	〒986-0833 石巻市日和ヶ丘4-1-10
フジ電装	0229-23-8266	〒989-6143 古川市中里1丁目12番5号
<b>福島県</b>		
(有)長南電機	0245-45-5161	〒960-8153 福島市黒岩堂の後51-1
芳広通信待機サービス	0249-43-5876	〒963-0101 郡山市安福町日出山1丁目95-3
エントー電機システムズ	0249-52-8417	〒963-8035 郡山市希望ヶ丘10-20
(株)オートテソノマルヤマ(郡山店)	024-945-5388	〒963-0111 郡山市安福町荒井字八丁5-2
(会津支店)	0242-24-1717	〒965-0057 会津若松市北町大字藤室字横道53-1
(白河店)	0246-23-4555	〒961-0076 白河市五番町川原50番地01
<b>茨城県</b>		
(株)日本電機サービス(茨城)	0292-47-3231	〒310-0844 水戸市住吉町64
(株)日本電機サービス茨城	0292-43-0516	〒310-0851 水戸市千波町2345-13
<b>栃木県</b>		
(株)日本電機サービス(栃木)	028-648-6291	〒320-0851 宇都宮市鶴田町1362-2
サウンドサービス	028-653-8623	〒321-0131 宇都宮市吾の内1-173-38
<b>群馬県</b>		
(株)日本電機サービス(北関東)	0276-46-5885	〒373-0818 太田市小泉木町377
グリーンックスサービス	0273-82-5024	〒379-0132 安中市高島町709-1
<b>長野県</b>		
恩田電子サービス	0263-53-6723	〒399-0705 埴田市広野堅石2146-339
オーディオサービスヨシムラ	0266-226-4199	〒380-0821 長野市栗田653-4アズマビル2F
<b>新潟県</b>		
(有)ムツミ電装	025-285-1919	〒950-0964 新潟市湖川原2-43-6
(株)丸山電機	0258-27-0009	〒940-2112 長岡市大島本町5-118-10
(有)トミザワテクノ	025-270-7021	〒950-0862 新潟市竹尾764番地6号
<b>東京都</b>		
アース電機(株)	03-3758-7821	〒146-0095 大田区多摩川12-9-17
アライ電機産業(株)	03-3925-1602	〒179-0075 練馬区高松6-33-14
(株)日本電機サービス(東京)	03-3395-3681	〒167-0042 杉並区西荻北1-9-20
(株)キャリアーサービス	03-3671-7001	〒133-0051 江戸川区北小岩1-11-7
三共無線(有)日黒営業所	03-3719-3525	〒153-0042 目黒区青葉台1-27-15
(有)テクニカルサービス	03-3558-7008	〒115-0051 北区浮間2-6-10
(株)日本電機サービス(本社)	0425-58-7773	〒197-0803 おきる野市瀬戸岡255
叶電機	0425-51-9350	〒197-0011 福生市福生2241番地 P108号
ALサンライズ	0425-97-4854	〒190-0182 西多摩郡日の出町平井2040
<b>神奈川県</b>		
(株)日本電機サービス(神奈川)	045-963-2510	〒241-0031 横浜市旭区今宿西町255
関東電子サービス(株)	045-934-9081	〒226-0023 横浜市緑区小山町292-7
(株)エルフエレクトロ	045-242-0029	〒220-0022 横浜市西区花咲町4丁目116番地
<b>埼玉県</b>		
アルパイン埼玉販売(株)	048-664-7701	〒331-0852 大宮市桜木町3-179
(株)日本電機サービス(埼玉)	048-651-2327	〒331-0043 大宮市大成町14-36-1
<b>千葉県</b>		
(株)日本電機サービス(千葉)	043-232-5132	〒264-0022 千葉市若葉区桜木町471-8
<b>静岡県</b>		
(株)日本電機サービス(静岡)	054-247-2522	〒420-0804 静岡市城南1-16-1
(株)加藤自動車音響商会	053-461-6781	〒435-0043 浜松市宮竹町149-1
三和電子サービス(株)	053-448-8551	〒432-8061 浜松市八野町19156

名称	電話番号	住所
<b>愛知県</b>		
(株)日本電機サービス(名古屋)	052-702-1071	〒465-0067 名古屋市名東区猪高町大字高針字メクソ10-1
(株)センターコパヤシ	052-881-3400	〒466-0059 名古屋市昭和区福江3丁目1-40
名陽電機(株)	052-761-5306	〒466-0853 名古屋市昭和区川原通11-2
名電機器商会	052-241-9737	〒460-0007 名古屋市中区新栄3-11-24
名電機器商会	052-914-3321	〒462-0023 名古屋市北区安井1-11-1
波辺電機商会	052-793-6844	〒463-0081 名古屋市守山区川宮町394-1
牧サービス電機	052-561-5110	〒451-0051 名古屋市西区則武町2丁目25番地6号
(有)前田電機	052-805-7887	〒468-0043 名古屋市天白区菅田2丁目701
サカタ電機	0562-48-5223	〒474-0061 大府市共和町(ちょう)6-262-1
(有)横井計器	0587-55-8511	〒483-8222 江南市赤竜子町観音41
フジミサウンド(株)		
<b>三重県</b>		
FIX	0593-80-3134	〒510-0244 鈴鹿市白子町字北新田1896-1
(有)今尾電機	0593-82-1287	〒513-0816 鈴鹿市南玉垣町5434-1
広音響サービス	0596-23-4531	〒516-0071 伊勢市一木4丁目586
<b>富山県</b>		
ナカノ商会	0766-54-1585	〒939-0413 射水大町甲串田1268
<b>石川県</b>		
辰口電機	0761-51-2498	〒923-1201 能美郡辰口町岩内口75-2
<b>福井県</b>		
(株)パーメンテサービス	0776-35-8182	〒918-8015 福井市花堂南1丁目5-4
<b>滋賀県</b>		
滋賀オーディオサービス	0748-55-2070	〒529-1541 蒲生郡蒲生町蒲生338-78
<b>京都府</b>		
洛西電子	075-331-4847	〒610-1153 京都市新京区大原野南春日町388
電装整備(株)	075-821-5843	〒602-8365 京都市上京区丸太町御前通上ル
ヤハタ電気	075-605-1903	〒616-8474 京都市伏見区下鳥羽円筒町45-1ト口51F
<b>大阪府</b>		
(株)日本電機サービス(関西)	06-6827-0901	〒533-0001 大阪市東淀川区井高野4丁目6-27
サンコーオーディオ	06-6768-3697	〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町3-15ダイヤビル1F
タツミ電気商会	06-6573-3605	〒552-0007 大阪市港区弁天3-1-4
アジオーディオサービス	0722-23-8695	〒599-0074 堺市北花田口町1-2-27
<b>和歌山県</b>		
ミナト電機商会	0734-23-0681	〒640-8251 和歌山市南中間町48
<b>奈良県</b>		
エルバック(株)	0742-36-8700	〒630-8132 奈良市大森西町21-26
<b>兵庫県</b>		
ニシオサービス	078-662-1099	〒652-0873 神戸市兵庫区金平町1丁目32-9
兵庫電子サービス	078-652-3846	〒652-0834 神戸市兵庫区本町1丁目1-8浅沼マンション1F
(有)ケーイー神戸サービスセンター	078-811-6659	〒657-0036 神戸市東区桜川町5-2-20第6甲センタービル
(株)細道電子	078-302-6615	〒650-0046 神戸市中央区港島中町3丁目2-1
(株)電子器	0792-77-3703	〒671-1523 播磨郡太子町東南小川1647-3
<b>岡山県</b>		
中田電器	086-263-9146	〒702-8058 岡山市本並2丁目8-17
大熊電機	086-422-6460	〒719-1173 都窪郡清音村黒田14
<b>広島県</b>		
(有)北洋電子	082-291-3446	〒733-0012 広島市西区中広町2丁目3番12号
(有)伸栄サービス	0849-31-3761	〒721-0966 福山市手塚町1丁目2-31
<b>香川県</b>		
(有)松岡電機サービス	087-843-1040	〒761-0102 高松市新田町甲470-11
<b>愛媛県</b>		
(有)増田電機サービス	0899-57-3174	〒791-1112 松山市南高井町1982-3
<b>徳島県</b>		
みの電子パーツ	0886-53-2812	〒770-0801 徳島市上助任町大坪182-4
<b>高知県</b>		
ナカムラ	0888-32-4548	〒780-8027 高知市高見町303番地1
(株)シキデン	0888-83-5101	〒780-0056 高知市北本町3-10-39
<b>福岡県</b>		
(株)日本電機サービス(福岡)	092-441-7658	〒816-0092 福岡市博多区東那珂2丁目14-26-1
池側電機	093-571-1355	〒803-0841 北九州市小倉北区清水1丁目20-9
中元電器	0948-22-4830	〒820-0011 飯塚市大字杉の森13-67
久留米音響サービス	0942-21-3781	〒830-0052 久留米市上津町1651-2
<b>佐賀県</b>		
佐賀テクニカルサービス	0952-33-5343	〒849-0932 佐賀市鍋島町大字八戸溝1252-13
<b>大分県</b>		
額田電機サービス	0975-67-1967	〒870-0927 大分市北下郡11組の7
<b>熊本県</b>		
大堀電機	096-372-1403	〒860-0811 熊本市本荘2-3-22
<b>長崎県</b>		
島原無線	0957-64-0821	〒855-0801 島原市高島2-7208
(有)野中電機	0956-58-6494	〒859-3241 佐世保市有福岡576-1
<b>沖縄県</b>		
(株)パルス	0988-66-1916	〒900-0003 那覇市安謝217番地3

( 般 )

その他

**Q** スイッチを押すときの操作音は、消すことができないの？

**A** 操作音の切りかえで「Sound Guide 0」に設定すると操作音を消すことができます。操作音の切りかえについては28ページを参照してください。

**Q** 表示されるガイドに合わせてリモコンを操作しても思い通りに動かない

**A** ディスプレイに表示されるのは「本体の操作ガイド」です。リモコンを使って操作するときは33～34ページを参考にしてください。

**Q** DHEはどのモードのときに使うの？

**A** DHEはどのモードでも使用できます。とくに、MD再生時のDHEが効果的です。光輝くライブな音楽空間をお楽しみください。

**Q** MDタイトルは何文字まで表示できるの？

**A** 本機内蔵のMDでは、「漢字／ひらがな」で32文字、「カタカナ／英数字」で64文字まで表示が可能です。（「漢字／ひらがな」はMDA-W977Jのみ）

**Q** 「下」「浅」「大」などの漢字を入力するにはどうすればよいの？  
(MDA-W977Jのみ)

**A** 漢字は「音読み」で探してください。「下」は「か」、「浅」は「せ」、「大」は「た」の行から探します。

**Q** 時計表示の時刻が違っているのは、どうして？

**A** 取付けたときやバッテリーを外したとき、またはリセットしたときなどは時刻の設定が必要です。時刻の設定については、29ページを参照してください。

**Q** サラウンドモードを選択できないのはどうして？  
(MDA-W977J/MDA-W955Jのみ)

**A** 3WAY/2WAY切りかえスイッチ（38ページ）が「3WAY」に設定されています。サラウンドモードを選択するには、3WAY/2WAY切りかえスイッチ（38ページ）を「2WAY」にしてください。ディバイダーの調整（23ページ）を行っています。サラウンドモードを選択するには、ディバイダーの調整（23ページ）を初期値に戻してください。（ディバイダーの調整はリセットしても消去されません。）

#### 2Wayシステム

##### 初期値

BAND	周波数	スロープ	LEVEL	位相
SUB-W	80Hz	FLAT(0dB)	0dB	0°
REAR	80Hz	FLAT(0dB)	0dB	
FRONT	80Hz	FLAT(0dB)	0dB	

**Q** ボタンのイルミネーションが点灯しないのはどうして？

**A** ボタンのイルミネーションが点灯するのは、本機の電源がONのときです。

**Q** イルミネーションコードを接続するとどうなるの？  
(MDA-W955J/MDA-W933Jのみ)

**A** イルミネーションコードを車のスモールライトコードに接続すると、ライト点灯時に本機のディスプレイが減光します。

# カスタマイズサウンドデータベース車種一覧

No.	メーカー名	車名
1	ニッサン	180SX
2	ホンダ	ACCORD SEDAN
3	ホンダ	ACCORD WAGON
4	トヨタ	ALTEZZA
5	ダイハツ	ALTIS
6	スズキ	ALTO
7	トヨタ	ARISTO
8	イスズ	ASKA
9	ダイハツ	ATRAI
10	トヨタ	AVALON
11	ニッサン	AVENIR
12	マツダ	AZ-OFFROAD
13	マツダ	AZ-WAGON
14	ニッサン	BASSARA
15	トヨタ	bB
16	ニッサン	BLUEBIRD
17	ニッサン	BLUEBIRD SYLPHY
18	トヨタ	CALDINA
19	トヨタ	CAMI
20	トヨタ	CAMRY
21	トヨタ	CAMRY GRACIA
22	マツダ	CAPELLA SEDAN
23	マツダ	CAPELLA WAGON
24	トヨタ	CARINA
25	トヨタ	CARINA ED
26	ミツビシ	CARISMA
27	スズキ	CARRY
28	ニッサン	CEDRIC
29	ニッサン	CEFIRO
30	ニッサン	CEFIRO WAGON
31	トヨタ	CELICA
32	スズキ	CERBO
33	トヨタ	CHASER
34	ニッサン	CIMA
35	ホンダ	CIVIC
36	ホンダ	CIVIC FERIO
37		CONVERTIBLE
38	トヨタ	COROLLA
39	トヨタ	COROLLA CERES
40	トヨタ	COROLLA FIELDER
41	トヨタ	COROLLA SPACIO
42	トヨタ	COROLLA WAGON
43	トヨタ	COROLLA 2
44	トヨタ	CORONA
45	トヨタ	CORONA EXIV
46	トヨタ	CORONA PREMIO
47	トヨタ	CORSA
48	トヨタ	CORSA SEDAN
49		COUPE
50	トヨタ	CRESTA

No.	メーカー名	車名
51	ニッサン	CREW
52	トヨタ	CROWN
53	トヨタ	CROWN ESTATE
54	ホンダ	CR-V
55	ニッサン	CUBE
56	スズキ	CULTUS
57	スズキ	CULTUS WAGON
58	トヨタ	CURREN
59	トヨタ	CYNOS
60	ニッサン	DATSUN PICKUP
61	ミツビシ	DELICA SPACE GEAR
62	ミツビシ	DELICA STAR WAGON
63	ダイハツ	DELTA WAGON
64	ミツビシ	DIAMANTE
65	ミツビシ	DIAMANTE WAGON
66	スバル	DIAS
67	ミツビシ	DINGO
68	トヨタ	DUET
69	ミツビシ	ECLIPCE
70	ニッサン	ELGRAND
71	スズキ	ESCUDO
72	トヨタ	ESTIMA
73	スズキ	EVERY
74	フォード	EXPLORER
75	マツダ	FAMILIA
76	マツダ	FAMILIA S WAGON
77	イスズ	FILLY
78	スバル	FORESTER
79	日本フォード	FREDA
80	ミツビシ	FTO
81	トヨタ	Fun Car Go
82	トヨタ	GAIA
83	ミツビシ	GALANT
84	イスズ	GEMINI
85	ニッサン	GLORIA
86	VW	GOLF
87	VW	GOLF WAGON
88	トヨタ	GRAND HIACE
89	トヨタ	GRANVIA
90	ミツビシ	GTO
91		HATCHBACK
92	トヨタ	HIACE REGIUS
93	トヨタ	HIACE WAGON
94	トヨタ	HILUX SPORTS PICK UP
95	トヨタ	HILUX SURF
96	ホンダ	HR-V
97	スバル	IMPREZA
98	スバル	IMPREZA WAGON
99	ニッサン	INFINITY Q45
100	ホンダ	INSIGHT

No.	メーカー名	車名
101	ホンダ	INSPIRE
102	ホンダ	INTEGRA
103	ホンダ	INTEGRA SEDAN
104	トヨタ	IPSUM
105	日本フォード	IXION
106	スズキ	JIMNY
107	スズキ	JIMNY WIDE
108	スズキ	Kei
109		KEI CAR
110	三菱	LANCER CEDIA WAGON
111	トヨタ	LAND CRUISER 100
112	トヨタ	LAND CRUISER 70
113	トヨタ	LAND CRUISER 80
114	トヨタ	LAND CRUISER CYGNUS
115	トヨタ	LAND CRUISER PRADO
116	マツダ	LANTIS COUPE
117	マツダ	LANTIS SEDAN
118	マツダ	LAPUTA
119	ニッサン	LARGO
120	日本フォード	LASER LIDEA SEDAN
121	日本フォード	LASER LIDEA WAGON
122	ニッサン	LAUREL
123	スバル	LEGACY
124	スバル	LEGACY B4
125	ホンダ	LEGEND
126	三菱	LEGNUM
127	ニッサン	LEOPARD
128	トヨタ	LEVIN
129	三菱	LIBERO
130	ホンダ	LIFE
131	トヨタ	LITEACE NOAH
132	ニッサン	LUCINO
133	ニッサン	LUCINO S-RV
134	ニッサン	MARCH
135	ニッサン	MARCH BOX
136	トヨタ	MARK2
137	トヨタ	MARK2 QUARIS
138	マツダ	MILLENIA
139		MINIVAN
140	ダイハツ	MIRA
141	ダイハツ	MIRA GINO
142	三菱	MIRAGE
143	三菱	MIRAGE ASTI
144	三菱	MIRAGE SEDAN
145	フォード	MONDEO SEDAN
146	フォード	MONDEO WAGON
147	ダイハツ	MOVE
148	マツダ	MPV
149	トヨタ	MR2
150	トヨタ	MR-S

No.	メーカー名	車名
151	マツダ	MS-9
152	イズ	MU
153	トヨタ	NADIA
154	ダイハツ	NAKED
155	ホンダ	ODYSSEY
156	トヨタ	OPA
157	ダイハツ	OPTI
158	ホンダ	ORTHIA
159	三菱	PAJERO
160	三菱	PAJERO Jr.
161	三菱	PAJERO MINI
162	トヨタ	PLATZ
163	スバル	PLEO
164	ニッサン	PRAIRIE LIBERTY
165	ホンダ	PRELUDE
166	マツダ	PREMACY
167	ニッサン	PRESAGE
168	ニッサン	PRESEA
169	ニッサン	PRIMERA
170	ニッサン	PRIMERA WAGON
171	マツダ	PROCEED LEVANTE
172	ニッサン	PULSER
173	ニッサン	PULSER SERIE S-RV
174	ダイハツ	PYZAR
175	ホンダ	RAFAGA
176	ニッサン	RASHEEN
177	トヨタ	RAUM
178	トヨタ	RAV4
179	ニッサン	R' NESSA
180	マツダ	ROADSTER
181		RV
182	マツダ	RX-7
183	ホンダ	SABER
184	ニッサン	SAFARI
185		SEDAN
186	マツダ	SENTIA
187	ニッサン	SERENA
188	ニッサン	SILVIA
189	ニッサン	SKYLINE
190	ニッサン	SKYLINE SEDAN
191	ホンダ	S-MX
192	トヨタ	SOARER
193	トヨタ	SPARKY
194	トヨタ	SPRINTER CARIB
195	トヨタ	SPRINTER MARINO
196	トヨタ	SPRINTER WAGON
197	ニッサン	STAGEA
198	トヨタ	STARLET
199		STATION-WAGON
200	ホンダ	STEP WGN

No.	メーカー名	車名
201	ダイハツ	STORIA
202	ホンダ	STREAM
203	ニッサン	SUNNY
204	トヨタ	SUPRA
205	スズキ	SWIFT
206	フォード	TELSTAR
207	フォード	TELSTAR WAGON
208	トヨタ	TERCEL
209	トヨタ	TERCEL SEDAN
210	ダイハツ	TERIOS
211	ダイハツ	TERIOS KID
212	ニッサン	TERRANO
213	ニッサン	TERRANO REGULUS
214	ホンダ	TORNEO
215	トヨタ	TOWNACE NOAH
216	トヨタ	TRUENO
217	イスズ	VEHICROSS
218	ホンダ	VIGOR
219	トヨタ	VISTA
220	トヨタ	VISTA ARDEO
221	トヨタ	VITZ
222	スバル	VIVIO
223	VOLVO	VOLVO70
224	VOLVO	VOLVO850
225	スズキ	WAGON R
226	スズキ	WAGON R+
227	トヨタ	Will Vi
228	トヨタ	WINDOM
229	ニッサン	WINGROAD
230	イスズ	WIZARD
231	ニッサン	X-TRAIL
232	ダイハツ	YRV
233	ホンダ	Z

データベースに該当する車種がない場合はこの中からお選びください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています